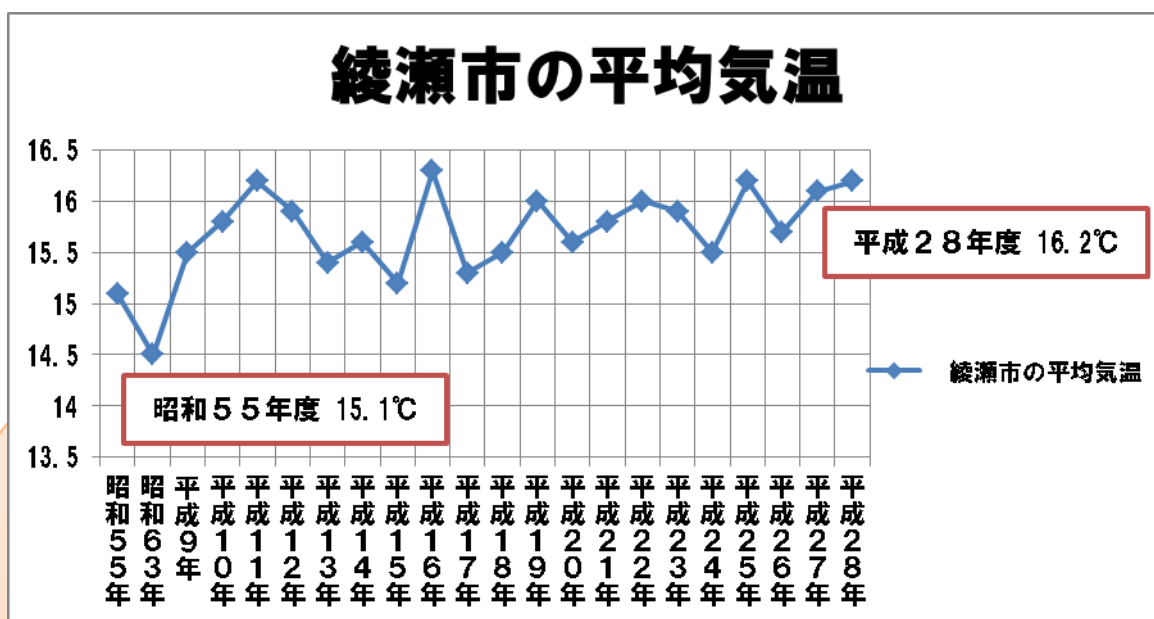


# 綾瀬市環境報告書

## 平成28年度取組結果



◇綾瀬市の平均気温の変化(危機管理課):昭和55(1980)年度から平均気温が1.1°C上昇



マスコットキャラクター

「あやびい」



## 目 次

1	はじめに	1
	第2次綾瀬市環境基本計画	2
2	平成28年度の取組評価（まとめ）	3
3	各計画の報告	
	(1) 第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標結果	6
	(2) 第2期綾瀬市環境行動計画 取組結果	9
	(3) 綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）取組結果	12
	(4) 第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）取組結果	21
	(5) あやせ環境教育推進基本計画 取組結果	26
	<b>【 資料編 】</b>	
	(1) 第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標	29
	(2) 第2期綾瀬市環境行動計画	33
	(3) 第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	41
	(4) あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）	47
	(5) 市民環境団体の活動報告	54
	(6) エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告	59

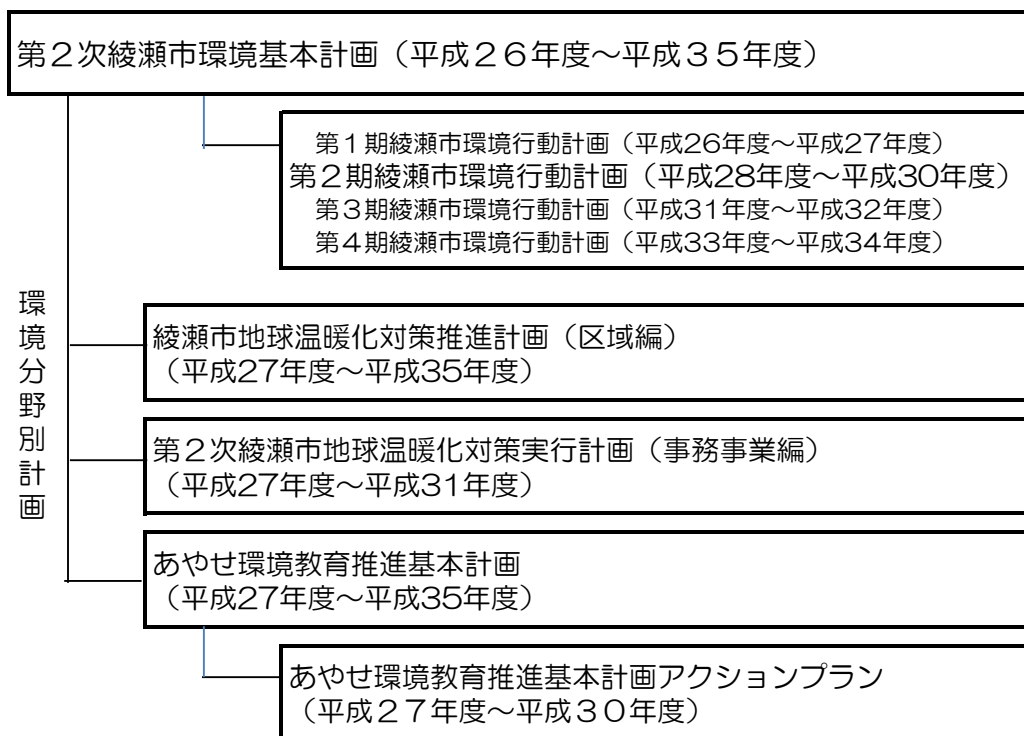
# 1 はじめに

本報告書は、綾瀬市環境基本条例第12条の規定により、「第2次綾瀬市環境基本計画（以下「基本計画」という。）」に基づき、平成28年度に実施した施策の状況等を公表するものです。

基本計画は、環境分野のマスタープランであり、6つの環境の将来像、20の基本目標の実現に向けて、市民・市民団体、事業者、市の取組内容等を示し、計画の進み具合を確認するため、環境目標や政策目標等の指標とその達成状況を示しています。加えて、環境保全などの取組内容については、「綾瀬市環境行動計画（以下「行動計画」という。）」として設定し、概ね3年毎に見直しを図っています。

また、環境分野別計画を策定し、各種環境施策を推進しています。

- ・綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）（以下「区域編」という。）：本市域から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「事務事業編」という。）：1事業所として綾瀬市役所から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・あやせ環境教育推進基本計画（以下「教育計画」という。）：環境教育・環境学習を進めるための計画



## 【 第2次綾瀬市環境基本計画 】

基本  
テーマ

環境の将来像

基本目標

あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを實踐し、安全なまちづくりを進める

あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして

環境の将来像Ⅰ  
**豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち**  
(自然共生社会の構築)

- 1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます
- 2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします
- 3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくりま
- 4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます

環境の将来像Ⅱ  
**生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち**  
(生活環境の保全・改善)

- 1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします
- 2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります
- 3 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします

環境の将来像Ⅲ  
**歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち**  
(文化・都市環境の形成)

- 1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます
- 2 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくりま
- 3 人と環境にやさしい交通体系を整備しま
- 4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めま
- 5 ごみが散乱しないきれいなまちにします

環境の将来像Ⅳ  
**ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち**  
(循環型社会の構築)

- 1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理しま
- 2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めま

環境の将来像Ⅴ  
**地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち**  
(低炭素社会の構築)

- 1 電気・ガスなどの省エネルギー化やエネルギーの有効利用を進めま
- 2 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めま

環境の将来像Ⅵ  
**環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち**  
(協働社会の構築)

- 1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めま
- 2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組ま
- 3 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めま
- 4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めま

## 2 平成28年度の取組評価（まとめ）

平成28年度の各計画の取組評価は次のとおりとなりました。

### 【 各計画の目標達成状況 】

- (1) 基本計画の平成28年度環境指標として掲げられた39指標のうち、24指標を目標どおり実施しました。14指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。
- (2) 行動計画として設定した54項目のうち、34項目を目標どおり、5項目をほぼ目標どおり実施し、8項目が一部未達成、7項目が未達成となりました。
- (3) 区域編における、綾瀬市内からの二酸化炭素排出量（平成26年度）は、1,039千t-CO<sub>2</sub>となり、目標排出量883千t-CO<sub>2</sub>以下は未達成となりました。
- (4) 事務事業編における、市役所業務からの二酸化炭素排出量は、7,856t-CO<sub>2</sub>となり、目標排出量7,367t-CO<sub>2</sub>は未達成となりました。
- (5) 教育計画の行動計画「あやせ環境教育推進基本計画アクションプラン（以下「アクションプラン」という。）」に設定した49項目のうち47項目を目標どおり実行しました。また、市立小・中学校での36項目の行動についても実施できました。

### 【 各計画の推進方針 】

- (1) 基本計画の指標について、特に達成率の低かった環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）及び環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）の達成率向上を目指し、景観、交通、不法投棄、ごみなどの目標に積極的に取り組みます。
- (2) 行動計画で未達成となった行動については平成29年度に改善し、基

本計画の進行管理を進めます。

特に、環境の将来像のうち、将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）の達成率が前年度に引き続き低く、「地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち」を実現するための環境行動のうち、未達成となった「市役所の電気・水道使用量の削減」などの行動については、行動内容を精査し、達成できる行動内容として可能な範囲で行動計画において重点的に取り組みます。

- (3) 区域編の排出量削減目標達成に向け、「家庭部門からの二酸化炭素排出量削減」を重点とし、「環境保全対策補助事業」「あやせエコっと21」の2事業を中心に、各種環境啓発事業に取り組みます。
- (4) 事務事業編の二酸化炭素排出量のさらなる削減に向け、本庁舎や道路照明灯のLED照明化や省エネルギー行動に取り組みます。
- (5) アクションプランについては、環境展等イベントの実施回数や実施方法の検討を行っていくとともに、エコっと21事業所編への参加促進に向けて、事業者への訪問や事業所向けの講座実施時の普及啓発に取り組みます。

#### 【 未達成事項 】

各計画の未達成事項は、10項目（未達成事項一覧参照）となりました。「今後の取組」に基づき、目標達成に向けた施策を行ってまいります。

綾瀬市環境報告書 平成28年度取組結果 未達成事項一覧

No.	目 標	結 果	今後の取組	ページ
<b>第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標 (平成26~35年度)</b>				
1	I 自然共生社会の構築 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます【動植物】 1-1 あやせ生物多様性行動指針の策定と推進： 27年度までに策定、その後指針に基づいて推進	研究（未策定）	※生物多様性行動指針は29年度に策定しないことと決定	29
<b>第2期綾瀬市環境行動計画 (平成28~30年度)</b>				
2	III 文化・都市環境の形成 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します 25-1 都市計画道路の整備：谷頭東山線・東山線・中郷大邸線	地権者と合意に至らず	合意に至らなかった部分について交渉を継続する	35
3	III 文化・都市環境の形成 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します 26-2 バスの乗り換え拠点の整備：駐輪場1ヶ所	他課と調整中のため未達成	引き続き調整する	35
4	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 43-3 市役所の電気使用量の削減：2%削減	25年度 1,430,150 28年度 1,469,252 3%増	業務効率化への取組やLED照明導入に向けた調整を行う	37
5	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 45-5 市役所の水道利用料量の削減：2%削減	25年度 3,984 28年度 6,162 55%増	維持管理の点検等で水を使用する際に極力少量で清掃を行うなど工夫する	38
6	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 47-7 省エネや省資源活動に実績があった事業所への顕彰：1事業所以上	顕彰は行わないと決定	事業所への省エネ普及啓発に関するほかの方法を検討する	38
7	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 49-9 目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備：目久尻川親水公園の用地買収	詳細設計・検討会を実施。用地については5回交渉を行ったが、地権者の同意を得られなかった	引き続き交渉する	38
8	V 低炭素社会の構築 ① 電気ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効活用を進めます 64-5 公園でのハイブリッド照明灯等の導入：2基以上	ソーラー照明灯等を設置可能な箇所なし	引き続き設置箇所を検討する	39
<b>綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）（平成27~35年度）</b>				
9	二酸化炭素排出量 883千t-CO2	二酸化炭素排出量 1,039千t-CO2	・環境保全対策補助事業 ・あやせエコっと21（家庭編）	20
<b>第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（平成27~31年度）</b>				
10	二酸化炭素排出量 7,367t-CO2	二酸化炭素排出量 7,856t-CO2	・照明のLED化などの高効率照明への転換 ・新エネルギーを利用した設備の導入 ・節電などの省エネ行動	25



### 3 各計画の報告

## 第2次綾瀬市環境基本計画

(平成26年度～平成35年度)

## 平成28年度 環境指標結果

### 1 環境指標の概要

本指標は、第2次綾瀬市環境基本計画の基本目標ごとに定められており、平成35年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

### 2 平成28年度環境指標の把握方法

市が実施した市民満足度調査や、各課に照会を行った内容をもとに把握しました。

### 3 平成28年度の環境指標結果

環境の将来像Ⅰ～Ⅵに掲げられた39指標のうち、24指標を目標どおり実施しました。14指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。

各将来像の達成状況は次のとおりとなりました(資料編参照P29～)。

○：目標達成、△：着手したが目標値に届かなかった、×：未達成

◆**環境の将来像Ⅰ** 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築) 9指標：○6指標、△2指標、×1指標

○ 1-1「あやせ生物多様性行動指針の策定と推進」について目標を達成できませんでした。自然共生社会の構築を目指し、自然環境保全に向けた取組を進める必要があります。

◆**環境の将来像Ⅱ** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善） 9 指標：○ 8 指標、△ 1 指標

○ 16-7「生活排水処理率」については目標値を達成できませんでした。その他の指標については達成することができました。引き続き生活環境の保全・改善に向けた取組を進め、目標達成を目指します。

◆**環境の将来像Ⅲ** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成） 10 指標：○ 3 指標、△ 7 指標

○ 21-3「市民一人当たりの公園面積」、23-5「公共交通機関（バス）利用満足度」など 7 つの指標について、目標を達成できませんでした。特に景観、交通、不法投棄に関する指標を達成できなかったことからこれらを重点的に推進し、文化・都市環境の形成に向けて引き続き取り組む必要があります。

なお、27-9「まち美化マナー宣言登録者数」は、平成 28 年 5 月に新規登録の受付を終了しました。

◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や 3 R が進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築） 4 指標：○ 1 指標、△ 3 指標

○ 30-2「事業系ごみの減量化（排出量）」、31-3「焼却処理されるごみ量」及び 32-4「リサイクル率」について目標値を達成できませんでした。循環型社会の構築を目指し、3 R の普及啓発を行う必要があります。

◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築） 2 指標：○ 2 指標

○ 33-1「地球にやさしい生活を実践している市民の割合」及び 34-2「補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力」の 2 指標について目標を達成しました。引き続き低炭素社会の構築に向けて、省エネ・創エネを進めます。

◆**環境の将来像Ⅵ** 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・

市がみんなで協働するまち（協働社会の構築） 5 指標：○ 4 指標、△ 1 指標

- 37-3「あやせエコっと 2 1 事業所（登録事業所）」の目標値を達成できませんでした。登録者の増加に向けて事業所への案内を強化するとともに、市民や事業者などと協働し、地球環境保全の取組を進める必要があります。

#### 4 今後の取組

「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、目標を達成することができましたが、そのほかの指標については目標を達成できていません。その中でも「環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）」については、事業等は実施しているものの目標に達成しない指標が多く、低い評価となっています。特に、景観、交通、不法投棄に関する指標について目標を達成できていないことから、これらの指標に重点的に取り組み、歴史・文化資源を活かした環境と共生するまちを形成していく必要があります。

また、「環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」についても、目標に達しない指標が多く評価が低いことから、講座やイベントなどを効果的に活用し、ごみの減量化やリサイクル率向上を目指して市民や事業者に対し、引き続き普及啓発を行っていく必要があります。

**第 2 期綾瀬市環境行動計画 平成 2 8 年度～平成 3 0 年度**  
あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める  
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～

**平成 2 8 年度 取組結果**

**1 平成 2 8 年度 環境行動計画の概要**

本計画は、第 2 次綾瀬市環境基本計画の第 2 期行動計画として、行政が行う内容の 5 4 項目を設定し、行動内容の進行管理をし、環境にやさしい暮らしを实践するものです。

**2 平成 2 8 年度の取組状況の把握方法**

取組状況の把握は、行動計画として定めた項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせ EMS）」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

**3 平成 2 8 年度の取組結果**

環境の将来像 I ～VI に掲げられた 5 4 項目のうち、3 4 項目を目標どおり、5 項目をほぼ目標どおり実施し、8 項目が一部未達成、7 項目が未達成となりました。各将来像の達成状況は、次のとおりとなりました（資料編参照 P 3 3 ～）。

◎：目標どおり、○：ほぼ目標どおり、△：一部未達成、×未達成

◆**環境の将来像 I** 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち（自然共生社会の構築） 1 3 項目：◎ 1 0 項目、○ 2 項目、△ 1 項目

○ 自然観察会や収穫祭などを目標どおり実施し、生態系や農地保全意識を醸成することができました。しかし、緑地の整備等の取組が目標どおり進まず、ハード面が課題となっています。

◆**環境の将来像 II** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善）：行動内容を設定しないため、評価なし。

○ 大気や水質、騒音の監視状況について、今年度より担当課で進行管理を実施することとしました。

◆**環境の将来像 III** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成） 7 項目：◎ 2 項目、○ 1 項目、△ 2 項目、× 2 項目

○ 文化財保護や景観保護については達成度が高くなっておりますが、環境に配慮した交通体系の整備については達成度が低く、地権者等との調整を引き続き行っていく必要があります。

◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築）7項目：◎5項目、△2項目

○ 生ごみ処理容器購入費助成や家庭系ごみの減量化について、目標を達成することができませんでした。マイバッグ持参の普及啓発などを継続し、循環型社会の構築に向けて引き続き取り組みます。

◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築）25項目：◎15項目、○2項目、△3項目、×5項目

○ 市役所の電気使用量や水道使用量が増加しており、市職員に対する省エネに係る啓発を引き続き行っていきます。他の環境の将来像と比較し、達成率が低くなっていることから、地球温暖化防止への取り組みに力を入れる必要があります。

◆**環境の将来像Ⅵ** 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築）2項目：◎2項目

○ すべての項目を達成することができました。引き続き市民や事業者等との協働を進めていきます。

#### 4 今後の取組

環境の将来像のうち、将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）の達成率が前年度に引き続き低く、「地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち」を実現するための環境行動のうち、未達成となった次の行動については、行動内容を精査し、達成できる行動内容として可能な範囲で第2期環境行動計画において重点的に取り組む必要があります。

① 市役所の電気・水道使用量の削減(平成25年度比)：実現に向けた取組 → 電気使用量増加の要因としては、パソコン等の電子機器や残業時間の増加が考えられるため、業務効率化に努めるとともに節電の徹底を呼びかけるほか、LED照明灯導入に向けて引き続き調整を進める。

② 省エネや省資源活動に実績があった事業所への顕彰 → 事業所への省エネ普

及啓発に関する他の方法を検討する。

- ③ あやせエコっと21（事業編）への参加促進 → 窓口での案内を強化する。
- ④ 目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備 → 地権者との交渉を重ねる。
- ⑤ 公園でのハイブリッド照明灯等の導入 → 引き続き設置箇所の検討を行う。

また、環境の将来像別では、「環境の将来像Ⅰ（自然共生社会の構築）」については、県や地権者と交渉を重ね、緑地の保全・確保を推進する必要があります。「環境の将来像Ⅱ（生活環境の保全・改善）」については、大気や水質等の継続的な現状調査や、騒音等の原因者への指導を実施していきます。「環境の将来像Ⅲ（文化・都市環境の形成）」については、良好な街並みや環境に配慮した交通体系の整備を推進するため、地権者等と調整を重ねる必要があります。「環境の将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」については、家庭系ごみの減量化目標を達成できなかったことから、生ごみ処理容器購入費助成などを進めながら、資源が大切にされるまちを目指していく必要があります。「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、二酸化炭素の排出抑制に向け、省エネを実践し、再生可能エネルギー利用の促進に力を入れる必要があります。「環境の将来像Ⅵ（協働社会の構築）」については、事業所独自の省エネや美化活動も推進されていますが、市と事業所との連携をより深めていく必要があります。



# 綾瀬市地球温暖化対策推進計画

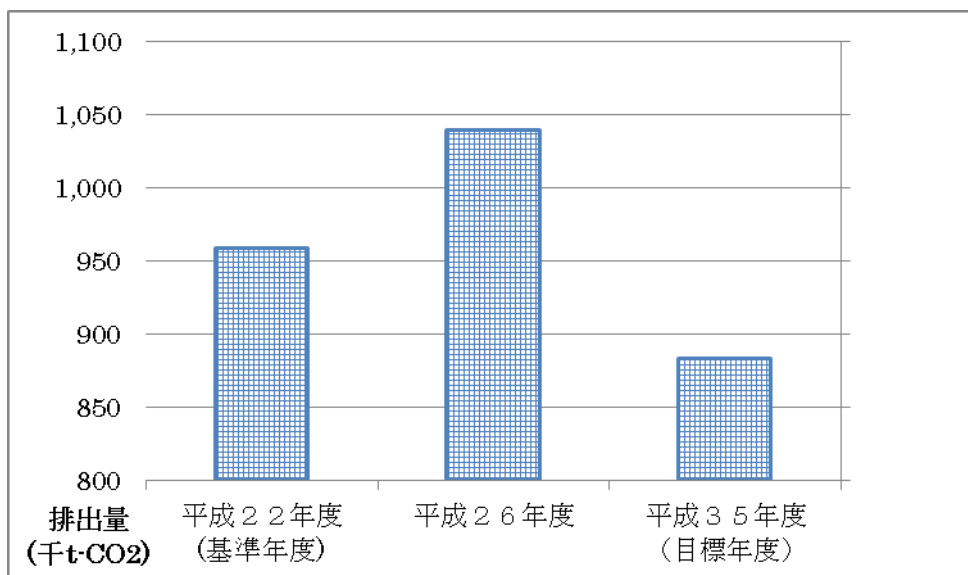
- 平成27年度～平成35年度 -

**地球温暖化防止のために、  
みんなで省エネや創エネを進めるまち  
低炭素社会の構築を目指して**

## 平成28年度 取組結果

### 二酸化炭素排出状況

年度	平成22年度 (基準年度)	平成26年度	平成35年度 (目標年度)
	排出量(千t-CO2)	排出量(千t-CO2)	排出量(千t-CO2)
排出量	958	1,039	883
基準年度比 (%)	—	8.5	△ 7.8



## 1 綾瀬市地球温暖化対策推進計画—平成27年度～平成35年度—の概要

本計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づき、平成27年3月に策定し、本市区域の自然的条件に応じた温室効果ガスの排出削減のための施策を定め、地球温暖化対策を推進するものです。

◇綾瀬市地球温暖化対策推進計画の概要は以下のとおりです。

○**計画の目的** 第2次綾瀬市環境基本計画に掲げる低炭素社会の構築に向けた環境の将来像「地球温暖化防止のために、みんなで省エネ創エネを進めるまち」の実現を図る。

○**基準年度** 平成22年度

○**計画期間** 平成27年度～平成35年度

○**計画の位置づけ** 環境行政の方向性を定めた第2次綾瀬市環境基本計画（平成26年度～平成35年度）の分野別計画として、市民・事業者・市が一体となって取り組み、市域全体で施策を推進します。

○**対象温室効果ガス** 地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第3項に基づく、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(HFC)（パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(PFC)、六ふっ化硫黄(SF<sub>6</sub>)、三ふっ化窒素(NF<sub>3</sub>)は、対象外とする。)

(地球温暖化対策の推進に関する法律(平成28年5月改正))

○**基準年度**（平成22年度）の二酸化炭素排出量 95万8千t

○**削減目標** 二酸化炭素排出量を平成35年度までに7万5千t（約8%）削減  
（平成35年度二酸化炭素排出量目標：88万3千t）

## 2 温室効果ガス排出量の算出方法

本市区域の排出量は、環境省手引書に沿って国や県のデータから推計する簡易的な按分手法を用いて算出しています。データの制約上2年程度さかのぼって算出することとなるため、平成28年度取組結果のデータは、平成26年度排出量となります。

## 3 平成26年度の二酸化炭素の排出状況

本計画では、平成35（2023）年度の削減目標として、基準年（平成22（2010）年）度をベースに、二酸化炭素排出量を約75千トン（約△8%）削減し、883千トン以下にすることを目指しています。



しかし、本市区域の平成26年度の二酸化炭素排出量の推計結果は1,039千t-CO2となり、基準年（平成22年）度と比較すると、81千t-CO2、8.5%の増加となりました。

温室効果ガス種・部門など				基準年 平成22年度 (2010年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	基準年比	
							増減量	増減率
二酸化炭素	エネルギー起源 (間接排出量)	産業部門	製造業	623	662	659	36	5.8%
			建設業・鉱業	10	9	8	-2	-20.0%
			農林水産業	2	2	1	-1	-50.0%
		小計	636	673	668	33	5.0%	
	家庭部門	98	125	114	16	16.3%		
	業務部門	93	121	130	37	39.8%		
	運輸部門	121	123	121	0	0.0%		
	小計	948	1042	1033	85	9.0%		
	非エネルギー起源(廃プラも焼却)	10	6	6	-4	-40.0%		
	<b>二酸化炭素(CO2)排出量 計</b>				<b>958</b>	<b>1,048</b>	<b>1,039</b>	<b>81</b>
その他のガス(CH4、N2O、HFC)計				4	4	4	0	0.0%
<b>温室効果ガス 計</b>				<b>962</b>	<b>1,052</b>	<b>1,043</b>	<b>81</b>	<b>8.4%</b>
人口(人)				83,167	83,828	83,990	823	1.0%
1人当たり二酸化炭素排出量(t-CO2/人)				11.5	12.5	12.4	-	-
1人当たり温室効果ガス排出量(t-CO2/人)				11.6	12.5	12.4	-	-

※数値は四捨五入して千t-CO2としていますので、合計が合わないことがあります。

二酸化炭素排出量は経済状況（好景気、不景気）などの影響を受けることから、景気動向により変動しますが、国では次のように考察しています。

・排出量が増加した要因として、二酸化炭素排出係数の高い火力発電への依存や、電力や石油製品の消費量の増加により、エネルギー起源の二酸化炭素排出量が増加したため。

#### 4 部門別の二酸化炭素の排出状況

本市域の二酸化炭素排出量の構成比は、産業部門64.3%、家庭部門11.0%、業務部門12.5%、運輸部門11.6%、廃棄物部門0.6%となりました。

産業部門が大部分を占めていますが、増加率では家庭部門（+16.3%）、業務部門（+39.8%）が大きくなっています。

部門別二酸化炭素排出量の変動

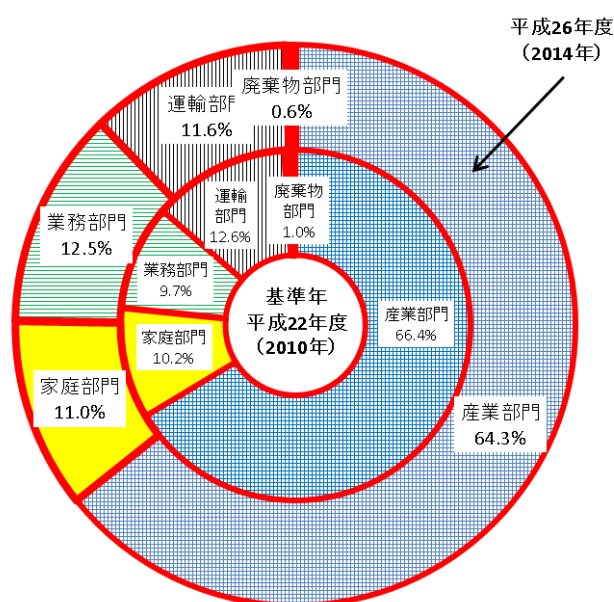
(単位: 千t-CO2)

部門	基準年 平成22年度 (2010年)		平成25年度 (2013年)		平成26年度 (2014年)		基準年比		目標年 平成35年度 (2023年)	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	増減率	排出量	構成比
産業部門	636	66.4%	673	64.2%	668	64.3%	32	5.0%	611	69.2%
家庭部門	98	10.2%	125	11.9%	114	11.0%	16	16.3%	76	8.6%
業務部門	93	9.7%	121	11.5%	130	12.5%	37	39.8%	89	10.1%
運輸部門	121	12.6%	123	11.7%	121	11.6%	0	0.0%	99	11.2%
廃棄物部門	10	1.0%	6	0.6%	6	0.6%	-4	-40.0%	8	0.9%
合計	958	100.0%	1,048	100.0%	1,039	100.0%	81	8.5%	883	100.0%

●産業部門

工業統計に基づく製造品出荷額が、3,869億円(平成22年度)から4,114億円(平成26年度)と6.3%増加するなど、生産活動による二酸化炭素排出量が増加しています。

電力消費量の増加に加えて、東日本大震災による原子力発電所の停止に伴い、二酸化炭素排出量の多い火力発電所で不足分を補ったため、二酸化炭素排出量は増加しました。



●家庭部門

世帯数が、33,651世帯(平成22年度)から36,063世帯(平成26年度)と7.2%増加するとともに、都市ガス普及率も上昇しているため、都市ガス消費量が増加しています。

また、産業部門と同様に、電力消費量の増加に加えて、火力発電所の稼働により、二酸化炭素排出量が増加しました。

●業務部門

A重油や灯油の消費量は減少していますが、市街化が進み、スーパーなどの第3次産業が増加したことから、LPガス、都市ガス及び電力の消費量が増加しました。

●運輸部門

世帯数の増加に伴い自動車所有台数は増加しましたが、環境性能の向上により二酸化炭素排出量は減少しました。

5 本市の取組状況

市では、市域からの二酸化炭素排出量を削減するため、特に増加傾向にある家庭部門からの排出抑制対策として、平成17年度から環境保全対策補助事業を、平成18年度からあやせエコっと21を実施し、この2事業を中心に第2次環境基本計画を基に各種啓発事業に取り組んでいます。(啓発事業の取組み結果については、「環境行動計画」及び「環境教育推進計画(アクションプラン)」参照)

環境保全対策補助事業については、本計画では、太陽光発電設備設置事業補助(再生可能エネルギーの導入)における二酸化炭素排出削減量を平成35年度2,980t-CO2に設定しています。平成28年度の削減量は、2,765t-CO2となり、計画目標達成率は92.8%となるとともに、平成28年度の目標1,818t-CO2に対し、達成率は152.1%となりました。

1. 再生可能エネルギーの導入	対象	対象数			設定	削減見込量 (t-CO2/年)
		全対象数	単位	計画での予定対象数		
(1) 市の太陽光発電設備設置等補助事業	現在の補助を継続				導入率(%)	
1) 住宅用太陽光発電設備設置補助	住宅	H23→H35年度までの予定対象数		1,900 軒	100%	2,770
2) 共同住宅用太陽光発電設備設置補助	共同住宅	H23→H35年度までの予定対象数		30 軒	100%	50
3) 事業所用太陽光発電設備設置補助	事業所	H23→H35年度までの予定対象数		30 件	100%	160
						<b>2,980</b>

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	
CO2 削減量	削減目標	個人	1,331,666	1,606,176	1,752,192	1,898,208	2,044,224	2,190,240	2,336,256	2,482,272	2,628,288	2,770,000
		共同	7,301	10,951	16,427	21,902	27,378	32,854	38,329	43,805	49,280	50,000
		事業所	43,805	32,854	49,280	65,707	82,134	98,561	114,988	131,414	147,841	160,000
		計	1,382,772	1,649,981	1,817,899	1,985,818	2,153,736	2,321,654	2,489,573	2,657,491	2,825,410	2,980,000
	削減実績	個人	1,221,486	1,998,503	2,181,570							
		共同	8,016.28	16,547	19,758							
		事業所	39,734.60	57,691	564,074							
	計	1,269,237	2,072,740	2,765,402	0	0	0	0	0	0	0	
	達成率	91.8%	125.6%	152.1%								
H35年度:目標達成率		42.6%	69.6%	92.8%								

この2事業の取組により平成26年度の市域の家庭部門から1,280.5 t-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素の削減効果がありました(環境保全対策補助事業:個人住宅用・共同住宅・事業所用太陽光発電設備:1,269.2 t-CO<sub>2</sub>。あやせエコっと21家庭編:節電・節水:11.3 t-CO<sub>2</sub>)。

平成28年度では、2,944.1 t-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素の削減効果があり、50年杉210,293本/年の植林効果(1本約14kg/年:関東森林管理局)に匹敵します。また、人で試算すると1,338人分(2014年度:約2,200kg-CO<sub>2</sub>/年:全国地球温暖化防止活動センター)の二酸化炭素排出量となります。

なお、平成28年度の取組結果は次のとおりとなりました。

#### ○ 二酸化炭素排出量の算定

二酸化炭素排出量の算定は、環境省が平成29年3月に策定した「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル」に基づき行う。(東京電力エネルギーパートナー(株)排出係数:0.50)

※平成25年の排出係数で算定する方法から変更。(平成25年度東京電力(株)排出係数:0.53)

(1) **環境保全対策補助事業**:太陽光発電設備の導入など地球温暖化対策に有効な機器の導入に対し、一部経費を助成することによって普及促進を図っています。この取組により、平成28年度では2,937.7 t-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素を削減することができました。

#### ○太陽光発電設備設置補助金(個人住宅・共同住宅・事業所用)

平成17年度から開始した個人住宅用補助は、平成28年度までに1,093件で4,158.41kW、平成25年度から開始した共同住宅用が6件で37.28kW及び事業所用が13件で1,106.95kW、合計5,302.64kWとなりました。年間では、5,302,640kWh(5302.64kW×1,000kWh/年)の電力を生むことになり、2,651.3 t-CO<sub>2</sub>(5302.64kW×1,000kWh×0.50)の二酸化炭素が削減できました。

#### ○家庭用燃料電池(エネファーム)設置補助金(平成25年度から実施)

平成25年度から開始し、平成28年度までの累計は88台となり、117.0 t-CO<sub>2</sub>[88台×1,330kg-CO<sub>2</sub>(1台当たりの年間削減量)]の二酸化炭素が削減できました。

### ○電気自動車導入補助金（平成23年度から実施）

平成23年度から開始し、平成28年度までの累計は73台となり、10当たり10km、年平均10,000km走行すると想定した場合、年間、約169.4t-CO2〔73台×10,000km÷10km/ℓ×2.32（ガソリン排出係数）〕の二酸化炭素が削減できました。

### ○雨水貯留槽設置補助金（平成17年度から実施）

平成17年度から開始し、平成28年度までの累計は117基となり、18,039ℓの節水効果となりました。

#### ☆ 個人住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
17～25	791	2,852.93
26	121	493.24
27	98	424.59
28	83	387.65
合計	1,093	4,158.41

#### ☆ 家庭用燃料電池設置状況

年度	台数
25	19
26	20
27	23
28	26
合計	88

#### ☆ 共同住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
24～25	3	16.02
26	1	5.94
27	1	9.26
28	1	6.06
合計	6	37.28

#### ☆ 電気自動車導入状況

年度	台数
25	40
26	8
27	13
28	12
合計	73

#### ☆ 事業所用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	発電量 (kWh)
24～25	6	94.53
26	2	14.32
27	0	0.00
28	5	998.10
合計	13	1,106.95

#### ☆ 雨水貯留槽設置状況

年度	件数 (件)	容量 (ℓ)
17～25	98	14,804
26	9	1,350
27	5	1,100
28	5	785
合計	117	18,039

(2) あやせエコっと21(家庭編)キャンペーン: 家庭での節電や節水など、環境に配慮した行動や取組を進めていくため、平成18年度から始まった市独自の普及・啓発活動です。前年同月比等で二酸化炭素排出量を抑制した場合に応募でき、抽選で旅行券やあやせ名産品などの賞品が当たるキャンペーンで、平成26年度からは、あやせ環境ネットワークと協働で実施しています。

平成28年度は、この取組(節電・節水・レジ袋削減・家電製品買換え)により、合計で約6.4 t-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素排出量の抑制ができました。

○節電・節水キャンペーン: 期間中の使用量が昨年同期より削減できた場合に応募できます。

・二酸化炭素削減量: 平成28年度は、◇応募件数

節電コースが188件、10,103 kWh  
の削減。節水コースが60件、316 m<sup>3</sup>

年度	26	27	28
件数	497	280	248

の削減。これらに電気の二酸化炭素係数0.50と水道の係数0.36を掛け、節電・節水で約5.2 t-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素を削減することができました(推計)。

○レジ袋削減キャンペーン: 市内レジ袋削減推進登録店等でマイバッグを持参して、1,000円以上買い物をした20,000円分(27年度までは15,000円)のレシートが対象として応募 ◇応募件数

できます。

年度	26	27	28
件数	307	402	366

・平成28年度は、応募口数366口、

レシート枚数2,701枚。レシート1枚につきレジ袋(LLサイズ10g)1枚を削減したとして推計し、二酸化炭素削減量は、1枚あたり60g-CO<sub>2</sub>をかけると、約162kg-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素が削減できました(推計)。

○家電製品買換えキャンペーン: エアコン、冷蔵庫、テレビを消費電力が減少するものに買い換えた場合に購入店に応じた口数の応募ができます。

・環境省の「しんきゅうさん: 省エネ製品買換ナビゲーション」に基づく、推計二酸化炭素削減量 ◇応募件数

は、約1,083kg-CO<sub>2</sub>となりました(推計)。

年度	27	28
件数	12	74

(3) あやせエコっと21(事業所編): 136項目の環境配慮行動から2項目以上に取り組んだ事業所を「環境に配慮する事業所」として登録し、市HPで紹介することにより事業者の環境配慮行動を促しました。 ※3件辞退

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計
件数	1	8	14	1	3	0	5	5	10	0	0	44

## 6 今後の取組

第2次綾瀬市環境基本計画に基づく「環境行動計画」により、低炭素社会の構築に向けた取り組みを推進していますが、廃棄物部門が減少、運輸部門が横ばいとなったほか、全ての部門で二酸化炭素排出量が増加傾向にあります。

家庭部門からの排出量も増加傾向にあり、その要因として、電化製品の種類の増加や世帯数の増加、電化製品の保有台数の増加、電化製品の大型化等があげられます。

また、市役所や学校、病院、事務所等の業務部門からの排出量も増加傾向にあり、その要因として、事業所数の増加や営業時間の延長等があげられます。

家庭部門、業務部門ともに、対策としては次のような方法が考えられます。

### 1 エネルギー消費量を削減すること

#### (1) 使い方による削減

こまめな消灯や照明の間引き、空調設備の適切な温度調整や室外機の清掃等

#### (2) 買換えによる削減

蛍光灯をLED照明へ、老朽化した空調設備を高効率な設備への買換え等

### 2 エネルギーを作り出すこと

#### (1) 家庭や事業所での創エネ

太陽光発電設備や燃料電池の設置等

今後も、市民や市民団体、事業者等と連携し、省エネの実践に向けた意識啓発事業の実施や再生可能エネルギーの活用を支援するとともに、「環境保全対策補助事業」や「あやせエコっと21(家庭編)」を継続実施し、二酸化炭素排出量の削減に取り組む必要があります。

# 第2次

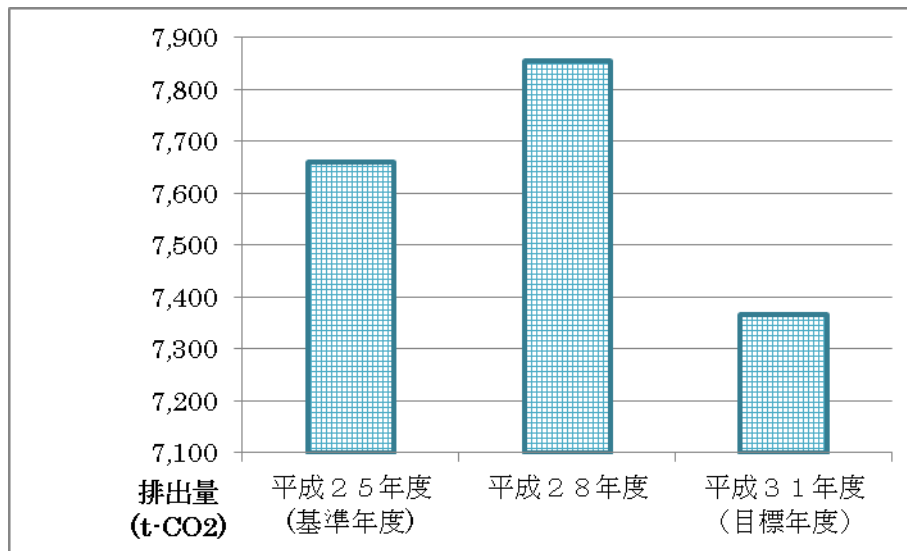
## 綾瀨市地球温暖化対策実行計画

### (事務事業編)

### 取組結果(平成28年度実績)

#### 二酸化炭素排出状況

年度	平成25年度 (基準年度)	平成28年度	平成31年度 (目標年度)
	排出量(千t-CO2)	排出量(千t-CO2)	排出量(千t-CO2)
排出量	7,659	7,856	7,367
基準年度比 (%)	—	2.6	△ 3.8





## 1 第2次（平成27年度～平成31年度）実行計画（事務事業編）の概要

本実行計画は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成28年5月改正）に基づき、第1次実行計画（平成22年度～26年度）を受け、第2次実行計画として平成27年3月に策定し、綾瀬市役所の全ての事務事業から排出される温室効果ガスの削減に向けた各種取組を推進するものです。

◇第2次実行計画（事務事業編）の概要は以下のとおりです。

○**計画の目的** 温室効果ガスの排出量の削減目標の実現に向け各種取組を行い、地球温暖化対策の推進を図る。

○**基準年度** 平成25年度

○**計画期間** 平成27年度～平成31年度

○**目標年度** 平成31年度

○**計画の位置づけ** 綾瀬市環境基本条例の基本理念を基に、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げられた重点施策を踏まえるとともに、綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）の環境配慮プログラムの取組のうち、特に温室効果ガスの排出削減を推進する取組やその推進体制を生かしながら進める。

○**対象事務事業** 市長部局、消防、議会事務局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、教育委員会で行う全ての事務事業

○**対象温室効果ガス** 二酸化炭素〔他の温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素）は、対象外とする。〕

○**基準年度** 平成25年度の二酸化炭素排出量 7,659 t

○**削減目標** 二酸化炭素排出量を平成31年度までに、平成25年度比△3.8%

### 【温室効果ガスの削減目標】

	平成25年度 (2013年度)	平成31年度 (2019年度)	
	実績・基準値	目標値	削減目標
CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	7,659	7,367	292
平成25年度比(%)	—	96.2	3.8

### ○ 温室効果ガス排出量の算定

温室効果ガス総排出量の算定は、環境省が平成29年3月に発行した「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」に基づき行う。※平成25年の排出係数で算定する方法から変更。

## 2 平成28年度の取組状況の把握方法

綾瀬市役所の本庁舎及び市が管理する公共施設で行う事務事業を対象としていることから、取組状況の把握は「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により、施設管理主管課を通じて、電気、ガス、灯油などのエネルギーの使用量を照会し、二酸化炭素排出量を集計しました。

## 3 平成28年度の二酸化炭素の排出状況

本計画の削減目標は、平成31年度までに、平成25年度比3.8%削減としていますが、平成28年度の事務事業から排出された二酸化炭素の総量は、7,856 t-CO2となり、基準年（平成25年）度と比較すると、197 t-CO2、2.6%増加という結果になりました。

平成25年度（基準年度）の二酸化炭素排出量	: 7,659 t
平成28年度の二酸化炭素排出量	: 7,856 t
基準年度に対する増減率	: +2.6%

また、平成31年度目標の二酸化炭素目標排出量は、平成29年度に新設された保健福祉プラザからの試算排出量も追加した数値としておりますので、既存施設の目標排出量7,290 t-CO2（綾西高齢者憩の家:3.8t-CO2、神崎遺跡資料館:9.9t-CO2を含む）と比較すると、566 t-CO2多い結果となりました。

平成25年度排出量(kg)	7,659,347	削減取組後目標排出量(kg):①	7,275,979	-5.0%
		新設施設等排出量(kg):②	91,011	
		合計	<b>7,366,990</b>	<b>-3.8%</b>

※第2次実行計画P13から抜粋

### 【二酸化炭素の活動項目別排出状況】

活動項目		平成28年度（2016年度）				
		使用量	単位	排出係数	排出量	単位
電気の使用	東京電力(株)など	12,192,912	kWh	0.411~0.555	5,896,363	kg-CO2
燃料の使用	ガソリン	71,652	L	2.32	166,233	
	灯油	208,558		2.49	519,309	
	軽油	69,528		2.58	179,383	
	A重油	3,000		2.71	8,130	
	液化石油ガス(LPG)	3,814	m3	3.00	11,441	
	都市ガス(13A)	481,795		2.23	1,074,403	
	天然ガス(CNG)	374		2.22	830	
合計					7,856,092	

※単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合があります。

※ガソリン、軽油、LPGは施設と公用車の排出量の合計となります。

※電気の排出係数は、電気事業者により異なります。

#### 4 活動項目別の二酸化炭素排出状況の比較

基準年（平成25年）度と、平成28年度の燃料等の使用量及び二酸化炭素排出量を比較すると、下表のとおりとなりました。（資料編参照P41～）

【燃料等種類別二酸化炭素排出状況の比較】

活動項目	単位	燃料等の使用量		二酸化炭素排出量(kg-CO2)				対基準年度増減率	種類別割合 平成28年度
		基準年度 平成25年度	平成28年度	基準年度(平成25年度)		平成28年度			
				排出係数	排出量	排出係数	排出量		
電気の使用	東京電力㈱	6,532,590	6,408,303	0.530	3,462,272	0.500	3,204,151	7.2%	75.1%
	昭和シェル石油㈱	1,427,493	-	0.377	538,165	-	-		
	㈱エネット	3,547,870	-	0.423	1,500,749	-	-		
	伊藤忠エネクス㈱	-	1,926,022	0.380	-	0.489	941,825		
	㈱F-Power	-	1,490,265	0.491	-	0.480	715,327		
	リエスパワー㈱	-	606,909	0.553	-	0.485	294,351		
	ミツロギグリーンエネキ㈱	-	111,139	0.375	-	0.495	55,014		
	イーレックス㈱	-	51,611	0.500	-	0.555	28,644		
	丸紅電力㈱	-	1,598,663	0.389	-	0.411	657,050		
	小計	11,507,953	12,192,912	-	5,501,186	-	5,896,363		
燃料の使用	ガソリン	65,788	71,652	2.32	152,627	2.32	166,233	8.9%	2.1%
	灯油	235,061	208,558	2.49	585,302	2.49	519,309	-11.3%	6.6%
	軽油	68,630	69,528	2.58	177,066	2.58	179,383	1.3%	2.3%
	A重油	146,200	3,000	2.71	396,202	2.71	8,130	-97.9%	0.1%
	液化石油ガス(LPG)	5,837	3,814	3.00	17,511	3.00	11,441	-34.7%	0.1%
	都市ガス(13A)	352,288	481,795	2.23	785,602	2.23	1,074,403	36.8%	13.7%
	天然ガス(CNG)	900	374	2.22	1,998	2.22	830	-58.4%	0.0%
	小計	-	-	-	2,116,308	-	1,959,730	-7.4%	24.9%
合計	-	-	-	7,617,494	-	7,856,092	3.1%	100.0%	

※単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

※対基準年度増減率=(平成28年度CO2排出量-基準年度CO2排出量)÷基準年度CO2排出量×100

※種類別割合=各燃料の平成28年度CO2排出量÷平成28年度CO2総排出量×100

電気の使用による二酸化炭素排出量の小計は、7.2%増加し、排出割合は、平成28年度の総排出量の75.1%（基準年度71.8%）を占めています。

一方、燃料の使用による二酸化炭素排出量は、小計で7.4%減少させることができました。燃料の種類別に比較すると、学校の冷暖房のほか、学校給食センター設備のエネルギー源転換などにより、A重油からの排出量を97.9%、液化石油ガス(LPG)からの排出量を34.7%、灯油からの排出量を11.3%、と、それぞれ減少させることができました。

また、前述の学校給食センター設備のエネルギー源転換や、ながぐつ児童館の放課後児童クラブ開設などに伴い、都市ガス(13A)の使用量が36.8%増加してしまいましたが、A重油からの転換により、二酸化炭素係数が低いエネルギー源にすることができました。さらに、天然ガス(CNG)からの排出量は、リサイクルプラザの塵芥車の運用を工夫したことにより、58.4%減少させることができました。

## 5 削減目標の取組結果

本実行計画で掲げた削減目標に対する達成削減率は、次のとおりです。

【削減目標 ⇒ 達成削減率】〔P 4 1 資料 1 削減計画内訳達成度 参照〕

(1) 市施設の節電行動による $\Delta 41,449\text{kg-CO}_2$  (電気)、削減率 $\Delta 2.0\%$  ⇒ あやせ EMSによる進行管理： $512,057\text{kg-CO}_2$ 、約 24.7%の増加となりました。(A)

(2) 本庁舎冷暖房施設機器の更新による $\Delta 104,171\text{kg-CO}_2$  (都市ガス)、削減率 $\Delta 40.0\%$  ⇒ 平成 27 年度に冷暖房施設機器更新済み。平成 28 年度： $60,953\text{kg-CO}_2$ 、達成削減率 $\Delta 23.4\%$  (B)

(3) 本庁舎の LED 照明化 (3,000 本) による $\Delta 101,776\text{kg-CO}_2$  (電気)、削減率 $\Delta 20.9\%$  ⇒ 平成 28 年度は取組なし。計画年度中の実施を目指す。

(4) 道路照明灯 50 基の LED 照明化による $\Delta 19,466\text{kg-CO}_2$  (電気)、削減率 $\Delta 3.0\%$  ⇒ 平成 28 年度に道路照明灯 10 基を LED 照明化。(平成 27 年度に 18 基計 38 基) 平成 28 年度： $68,624\text{kg-CO}_2$ 、削減達成率 $\Delta 10.4\%$  (C)

(5) 学校給食センターの設備更新による $\Delta 113,591\text{kg-CO}_2$  (A 重油・LP ガス→都市ガス)、削減率 $\Delta 28.3\%$  ⇒ 平成 27 年度に設備更新済み。平成 28 年度： $92,765\text{kg-CO}_2$ 、削減達成率 $\Delta 23.1\%$  (D)

(6) 削減目標：塵芥車 1 台のハイブリッド塵芥車更新による $\Delta 2,915\text{kg-CO}_2$  (軽油)、削減率 $\Delta 2.34\%$  ⇒ 平成 28 年度は取り組みなし。計画年度中の実施を目指す。

合計 289,715g-CO<sub>2</sub> の増加⇒目標 383,368kg-CO<sub>2</sub> 削減：目標達成率  $\Delta 75.6\%$

平成 28 年度は、放課後児童クラブの開設などにより、ながぐつ児童館などの節電行動を推進する施設の電気使用に伴う二酸化炭素排出量が増加しました。

本庁舎や学校給食センターの設備更新に伴い、燃料の使用は減少しています。

## 6 今後の取組

燃料使用量については、基準年度と比較し使用量を削減することができています。

しかし、電気使用量については 7.2%増加してしまいました。特に、削減目標として掲げている施設について、放課後児童クラブ開設などに伴い電気使用量が増加し、目標を達成できておりません。目標達成のため、照明の LED 化などの高効率照明への転換や省エネルギー設備の導入、太陽光発電設備などの新エネルギーを利用した設備の導入を進めるとともに、市民サービスを低下させることなく、節電などの省エネルギー行動を継続していく必要があります。

# あやせ環境教育推進基本計画

—平成27年度～平成35年度—

## 平成28年度 取組結果

### 1 あやせ環境教育推進基本計画—平成27年度～平成35年度—の概要

市では、「環境基本計画」の環境の将来像VI「環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんな協働するまち」の中の基本目標の一つに「環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます」と定めており、あらゆる機会を活用して、子どもから大人までを対象とした環境教育・環境学習を進めることとしています。

本計画は、「環境基本計画」を受け、「環境教育等による環境保全の取組の推進に関する法律」第8条に基づき、平成27年3月に策定し、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるために、各種取組を推進するものです。

◇ あやせ環境教育推進基本計画の概要は以下のとおりです。

- **計画の位置づけ** 「綾瀬市環境基本条例」第13条の、環境教育及び学習の振興並びに啓発活動の充実を図るとともに、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げる、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるための計画とします。
- **対象期間** 平成27年度～平成35年度

### 2 平成28年度取組状況の把握方法

取組状況の把握は、行動計画（アクションプラン）として定めた49項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

### 3 平成28年度の取組結果

アクションプラン49項目のうち47項目を目標どおり実行しました(資料編参照P47～)。

取組結果としては、4目標のうち3目標「(1)人材の育成と活用」「(2)プログラム等の整備と活用」「(4)情報提供と相談体制の整備」のアクションプラン全12項目全てが「目標どおり」となったことから、アクションプランの実行により、計画で設定した次の「展開方向」を推進することができました。

- (1) 人材の育成と活用：環境保全に関する専門的な知識を持った指導者の育成・活用と、学校等教職員の指導力向上に努めます。
- (2) プログラム等の整備と活用：市民の環境に関する正しい理解を促進し、環境保全の取組へのきっかけづくりとするため、身近な場で活用できる環境教育プログラムを作成・普及します。
- (4) 情報提供と相談体制の整備：市民の環境に関する正しい理解を促進し、環境保全の取組へのきっかけづくりとするため、身近な場で活用できる環境教育プログラムを作成・普及します。

なお、環境教育プログラムについては、環境に関する活動を実施している市民団体や企業、学校等から情報を提供していただき、「綾瀬市環境学習プログラム集」の第2版として平成28年10月に発行しました(情報提供協力数：3市民団体、1事業所、1大学、市、県)。

さらに、環境啓発事業として、平成28年度は「あやせ環境展」を2回開催しました。6月はツカエルフェアと、11月は地球の未来とエネルギー展とそれぞれ同時開催し、延べ302人の来場者を迎えて家庭や学校、職場、地域での環境保全活動への理解と支援を促進することができました。また、この他、あやせ環境ネットワークなどの市民団体や事業所と連携し、体験型の啓発事業として、「ホテルの生態を知ろう!」、「ミニソーラークッカーをつくろう!」、「ダムを学ぼう!」、「エコクッキング教室」、「目久尻川で水質検査」、「親子リサイクル現場学習会」、「野草等観察会」、「3R啓発教室」を開催し、延べ181人の参加がありました。講座としては「事業所対象省エネ講座」や「地球温暖化講座」を開催し、延べ110人の参加がありました。

加えて、本アクションプランでは、市内小中学校において36項目の行動を設定していますが、平成28年度は、学校ごとに工夫を加え、児童・生徒に指導することが

できました。

#### 4 今後の取組

平成28年度は、「(3) 参加の場や機会づくり」の目標において、アクションプラン37項目中2項目(環境展等のイベントの実施、エコっと21事業所編の参加促進)が未達成となったことから、(3) 参加の場や機会づくりの展開方向「年齢や環境への関心の程度に応じた、環境教育の機会を提供します。」については、環境展等イベントの実施回数や実施方法の検討を行っていくとともに、エコっと21事業所編への参加促進に向けて、産業振興部門との連携強化や事業者来庁時や事業所向けの講座実施の際の普及啓発を行っていく必要があります。

また、市立小・中学校における行動計画についても、引き続き、推進する必要があります。

さらに、「綾瀬市環境学習プログラム集」の内容を定期的に更新し、情報提供することで、環境保全の取組へのきっかけづくりを推進する必要があります。



**あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める  
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～  
平成28年度 環境指標結果**

環境の将来像 I	9指標
----------	-----

○	6指標
△	2指標
×	1指標

※ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築)

基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます【動植物】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
1	1	あやせ生物多様性行動指針の 策定と推進	平成27年度まで に策定 その後指針に基 づいて推進	策定	環境保全課	研究(未策定)	×
2	2	長峰の森等生物生育・生息地 の指定	2箇所(H32)以上	調整	みどり公園課	調整	○

基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします【市民】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
3	3	緑被率	33.7%(H32) を維持	33.70%	都市計画課	36.45%(H22)	○
4	4	緑地の確保	434.3ha(H32) 以上	413.4ha	みどり公園課	404.03ha	△

基本目標 ③ カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります【市民】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
5	5	湧水の整備箇所	1箇所	調整	みどり公園課	調整	○
6	6	水辺環境の整備への満足度	50%(H32)以上	45%		31.90%	△

基本目標 ④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます【農地】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
7	7	農用地面積	132ha(H32) の維持	146ha	農業振興課	152ha	○
8	8	市内農業体験農園利用者数	300人(H32) 以上	230人		341人	○
9	9	食育に関心のある人の割合	70%(H32)以上	60.80%	保健医療センター	68.60%	○

環境の将来像 II	9指標
-----------	-----

○	8指標
△	1指標
×	0指標

※ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち(生活環境の保全・改善)

基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします【大気】



		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
10	1	大気の汚染に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内	環境保全課	調査実施	○
11	2	有害大気汚染物質に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○
12	3	ダイオキシン類に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○

基本目標 ② さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります【河川】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
13	4	河川水質の環境基準 (生活環境項目)	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内	環境保全課	調査実施	○
14	5	地下水の水質汚濁に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○
15	6	ダイオキシン類に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	各項目とも環境基準値以内		調査実施	○
16	7	生活排水処理率	98.6%(H33) 以上	98.40%	リサイクルプラザ	96.40%	△

基本目標 ③ 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします【騒音】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
17	8	航空機騒音に係る環境基準	環境基準の達成	環境基準値以内	基地対策課	調査実施	○
18	9	騒音に係る環境基準	環境基準の達成維持及び改善	環境基準値以内	環境保全課	調査実施	○

<b>環境の将来像Ⅲ</b>	10指標
----------------	------

○	3指標
△	7指標
×	0指標

※歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち(文化・都市環境の形成)

基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます【文化財】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
19	1	市内指定文化財件数	15件(H32)以上	14件	生涯学習課	14件	○
20	2	文化財保護啓発事業の開催数	4事業	3事業		4事業	○

基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります【景観】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
21	3	市民一人当たりの公園面積	8.1㎡(H32)以上	6.58㎡	みどり公園課	6.52㎡	△
22	4	市内の緑と公園に満足している市民の割合	52%(H32)以上	47.0%		34.2%	△

基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します【交通】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価	
23	5	公共交通機関(バス) 利用満足度	50%(H32)以上	45.0%	都市計画課	22.4%	△
24	6	路線バス利用者数	12,700千人 (H32)以上	12,000千人		11,542千人	△

基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます【防災】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価	
25	7	緑地の確保【基本目標 I-2】	434.3ha(H32) 以上	413.40ha	みどり公園課	404.03ha	△
26	8	農用地面積【基本目標 I-4】	132ha(H32)の 維持	146ha	農業振興課	152ha	○

基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします【不法投棄】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価	
27	9	まち美化マナー宣言登録者数	累計2,000人 (H32)以上	1,500人	環境保全課	1,153人	△
28	10	環境衛生対策の満足度	80%(H32)以上	50%		42.60%	△

<b>環境の将来像Ⅳ</b>	4指標
----------------	-----

○	1指標
△	3指標
×	0指標

ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち(循環型社会の構築)

基本目標 ① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します【ごみ】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価	
29	1	市民1人1日あたりの家庭から のごみ排出量	662g/人・日 (H33)以下	674g/人・日	リサイクルプラザ	637g/人・日	○
30	2	事業系ごみの減量化(排出量)	2,562t(H33) 以下	3,230t		4,061t	△
31	3	焼却処理されるごみ量	15,000t(H33) 以下	17,076t		18,564t	△

基本目標 ② 資源を大切に、再使用や再生利用を進めます【リサイクル等】

	指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価	
32	4	リサイクル率	40%(H33)以上	34.4%	リサイクルプラザ	28.4%	△

<b>環境の将来像Ⅴ</b>	2指標
----------------	-----

○	2指標
△	0指標
×	0指標

※地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち(低炭素社会の構築)

基本目標 ① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます【省エネ】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
33	1	地球にやさしい生活を実践している市民の割合	75%(H32)以上	70%	環境保全課	76.20%	○

基本目標 ② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます【創エネ】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
34	2	補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力	4,300kW(H32)以上	2,600kW	環境保全課	・28年度: 1,446.35kW ・累計: 5,302.64kW	○

環境の将来像VI	5指標	○	4指標
		△	1指標
		×	0指標

※環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち(協働社会の構築)

基本目標 ① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます【育成】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
35	1	(仮称)あやせ環境教育推進基本計画の策定と推進	平成26年度策定 その後計画に基づき推進	推進	環境保全課	推進	○

基本目標 ② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます【4者】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
36	2	あやせエコっと21家庭編(応募家庭数)	1,000家庭以上	680家庭	環境保全課	・節電、節水: 248世帯 ・マイバック: 366世帯 ・家電買換え: 74世帯 計688世帯	○

基本目標 ③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます【事業者】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
37	3	あやせエコっと21事業所(登録事業所)※	100事業所	61事業所	環境保全課	28年度:0事業所 累計:44事業所	△

基本目標 ④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます【情報】

		指標(成果指標)の例	平成35年度 目標値	平成28年度 目標値	管理担当課	平成28年度 実績	評価
38	4	環境報告書の発行	年1回	年1回	環境保全課	12月に発行	○
39	5	環境情報の発行	年1回	年1回		9月に発行	○

※行動計画、教育計画で目標値を見直しています。

【 資料編 】

(2) 第2期綾瀬市環境行動計画

環境の将来像Ⅰ				総合評価	
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち (自然共生社会の構築) <small>※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△：60%～」、未実施又は未達成「×」</small>					
全13項目のうち、◎10項目、○2項目、△1項目となりました。 緑地の整備が目標どおり進んでいませんが、引き続き地権者との交渉を行い、里地里山の良好な生物生息環境の確保を推進します。				◎	10
				○	2
				△	1
				×	0
基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます				評価	
全3項目のうち、◎2項目、△1項目となりました。 里地里山の良好な生物生息環境を育み、生物多様性保全に向けた環境配慮を進めるため、引き続き地権者との調整を続けていきます。				◎	2
				○	0
				△	1
				×	0
行動内容		平成28年度	取組実績	評価	
方針(1)綾瀬の生物を知る、生物多様性を守り、育む					
1	1	あやせ生物多様性行動指針の策定	先進事例 情報収集	あやせ環境展で、神奈川大学法学部教授及び落合キツツキの森会長に講演会を依頼し、情報収集(6月) 麻布大学で開催された生物多様性講座に参加(2月)	◎
方針(2)カワセミやホタルなど綾瀬に生育・生息する生物を調べ、健全な生態系を育む					
2	2	生物の生育・生息状況調査	1回以上	目久尻川で水質検査と水生生物調査を実施(7月)	◎
方針(3)都市に隣接した良好な里地里山の良好な生物生息環境を育み、つなぐ					
3	3	祖師谷緑地の保全	保全及び 指定準備	情報収集・地権者との調整	△
基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします				評価	
全5項目のうち、◎4項目、○1項目となりました。 No.6-2「景観コンクール等による緑の景観の保全」については、人数が50人に達しなかったものの62作品の応募があったため、「ほぼ目標どおり」となりました。				◎	4
				○	1
				△	0
				×	0
行動内容		平成28年度	取組実績	評価	
方針(2)水辺の斜面林など里地里山環境を保全・再生する					
5	1	里山再生と持続可能な森づくり	緑地保全を 累計3ヶ所 以上指定	取内の森、長峰の森、落合キツツキの森など計9か所	◎
6	2	景観コンクール等による緑の景観の保全	年1回以上 (50人以上)	35人62作品の応募	○

方針(3) 身近な緑をつくり、育てる					
7	3	緑地及び樹木の管理のための補助	40箇所	40箇所	◎
8	4	緑地保全地区の確保	117,310㎡	117,310㎡継続中	◎
9	5	生垣推奨事業の推進	1人以上	申請1件	◎
基本目標③ カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります					評価
行動内容は設定しないが環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。					
基本目標④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます					評価
全5項目のうち、◎4項目、○1項目となりました。					◎ 4
No.13-2「農業ボランティア活動の推進」について、参加者が目標の約8割となったため「ほぼ目標どおり」となりました。					○ 1
引き続き、新規就農者の確保や農業ボランティア活動を推進し、農地の環境保全機能向上を進めていきます。					△ 0
					× 0
		行動内容	平成28年度	取組実績	評価
方針(1) 農地を保全し、農地の環境保全機能を向上する					
12	1	若手農業者、新規就農者の確保	1人以上	4人	◎
13	2	農業ボランティア活動の推進	年1回以上 (延べ320人)	援農ボランティア養成講座を実施(2回延べ250人)	○
14	3	農用地利用集積制度の活用	利用斡旋40件以上	76件	◎
方針(2) 土と農と食とのふれあいを高める					
15	4	農地を通じた緑とふれあい場としての収穫祭の開催	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上)	収穫祭の実施への支援 参加者：約31,000人、3事業者	◎
16	5	学校給食への市内農畜産物の供給	20%以上	35%	◎
環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち (生活環境の保全・改善) ※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△：60%～」、未実施又は未達成「×」					総合評価
行動内容を設定しないため、評価なし。					
基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					
基本目標 ② さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					
基本目標 ③ 航空騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住みよいまちにします					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					

環境の将来像Ⅲ				総合評価	
<b>歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち</b> <b>(文化・都市環境の形成)</b> <small>※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△：60%～」、未実施又は未達成「×」</small>					
評価対象である3目標のうち、1目標で「一部未達成」や「未達成」が多くなりましたが、総合評価は◎2項目、○1項目、△2項目、×2項目となりました。 文化や景観についての目標を達成することができています。 人と環境にやさしい交通体系の整備に向け、引き続き地権者や他課との調整を進めます。				◎	2
				○	1
				△	2
				×	2
<b>基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます</b>				評価	
8月に癒しの音体験教室を開催したため、◎1項目となりました。				◎	1
				○	0
				△	0
				×	0
行動内容		平成28年度	取組実績	評価	
方針(2) 綾瀬の歴史・文化とふれあい、知る					
22	1	癒しの音風景の検討・発見	研究	癒しの音体験教室を開催(8月)	◎
<b>基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります</b>				評価	
景観フォトコンテストに、30人73作品の応募があったため◎1項目となり、「目標どおり」とすることができました。				◎	1
				○	0
				△	0
				×	0
行動内容		平成28年度	取組実績	評価	
方針(2) 良好な街並みをつくる					
23	1	景観フォトコンテストの実施	年1回以上(20点以上)	30人73作品の応募表彰式を開催(2月)	◎
<b>基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します</b>				評価	
全5項目のうち、No.25-1「都市計画道路の整備」とNo.26-2「バスの乗り換え拠点の整備」が「未達成」となり、No.28-4「市道のバリアフリー化」とNo.29-5「自転車・歩行者道の整備」については「一部未達成」となり、総合評価は○1項目、△2項目、×2項目となりました。 地権者や他課との調整を引き続き行い、人と環境にやさしい交通体系の整備を進めます。				◎	0
				○	1
				△	2
				×	2
行動内容		平成28年度	取組実績	評価	
方針(1) 綾瀬を楽しみながら、環境にやさしく巡れるまちづくりをすすめる					
25	1	都市計画道路の整備	谷頭東山線・東山線・中郷大邸線	地権者と合意に至らず	×
			取組内容の実現に向けて	合意に至らなかった部分について交渉を継続する	
方針(2) 環境にやさしい交通利用をすすめる					
26	2	バスの乗り換え拠点の整備	駐輪場1ヶ所	他課と調整中のため未達成	×
			取組内容の実現に向けて	引き続き調整する	

27	3	コミュニティバスの利用増加(H24年度比) (H24年度利用者数：173,895人)	5%増	28年度コミュニティバス利用者：181,439人 約4.3%増加  4号車ルート変更により 28年度利用者数：12,057人 24年度利用者数：8,265人 約45.9%増加	○
方針(3) 環境にやさしい交通利用をすすめる					
28	4	市道のバリアフリー化	2路線	買収完了：市道3号線、411号線 工事完了：市道761号線	△
29	5	自転車・歩行者道の整備	250m	68.6m工事完了	△
基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます					評価
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。					
基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					
<b>環境の将来像IV</b> ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち (循環型社会の構築) ※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△：60%～」、未実施又は未達成「×」					総合評価
総合評価は◎5項目、△2項目となりました。 「一部未達成」となった生ごみ処理容器購入費助成や家庭系ごみの減量化を進めるため、循環型社会の構築に向けて普及啓発活動を行い、ごみの分別を徹底します。					◎ 5 ○ 0 △ 2 × 0
基本目標① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します					評価
全4項目のうち、No.32-1「生ごみ処理容器購入費助成」とNo.32-2「家庭系ごみの減量化」が「一部未達成」となり、全体としては◎2項目、△2項目となりました。 引き続き、生活や事業によるごみの減量化への啓発を進めていきます。					◎ 2 ○ 0 △ 2 × 0
行動内容		平成28年度	取組実績	評価	
方針(1) ごみの発生抑制と減量化を進める					
31	1	生ごみ処理容器購入費助成	年51基以上	33基	△
32	2	家庭系ごみの減量化	1%削減	0.66%削減	△
33	3	マイバック等の持参啓発	年1回以上 (1団体以上) (50人以上)	エコっと21(家庭編)キャンペーンのレジ袋削減コース 応募者：152人 応募口数：366口 レシート枚数：2,701枚 廃棄物削減量：27.01kg 二酸化炭素削減量：162kg-CO2 レジ袋削減推進店：26店舗	◎

方針(2) 廃棄物の適正処理を進める					
34	4	中間処理施設での搬入物検査、環境測定の実施	年1回以上	高座清掃施設組合ダイオキシシン立会い、搬入物検査立会い	◎
基本目標② 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます				評価	
全3行動について「目標どおり」実施することができ、◎3項目となりました。引き続き、資源の再使用や再利用を進めていきます。				◎	3
				○	0
				△	0
				×	0
行動内容		平成28年度	取組実績	評価	
方針(1) 循環型社会の構築を進める					
38	1	循環型社会構築に向けた拠点としての活用と活性化	事業1回以上	自治会研修会実績3回 小学生見学会3回	◎
方針(2) 資源の再使用・再生利用を進める					
39	2	ツカエルフェアの開催	年4回以上	4回	◎
40	3	ごみのリサイクル (本庁舎)	80%以上	82%、毎月10日間のごみの排出量に占めるリサイクル資源と可燃ごみの割合から推計	◎
環境の将来像V 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち (低炭素社会の構築)					総合評価
※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△：60%～」、未実施又は未達成「×」					
総合評価としては◎15項目、○2項目、△3項目、×5項目となりました。 市役所の電気使用量や水道使用量を削減できなかったことを課題とし、関係各課と協力しながら省エネの普及啓発により力を入れていきます。 また、目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備についても地権者の同意が得られなかったところですが、引き続き交渉を行い、低炭素型都市づくりを推進していきます。				◎	15
				○	2
				△	3
				×	5
基本目標① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます				評価	
全18項目のうち、No.43-3「市役所の電気使用量の削減(平成25年度比)」など7項目が「一部未達成」や「未達成」となり、全体としては◎10項目、○1項目、△3項目、×4項目となりました。 市役所の電気使用量や水道使用量の削減について努力をしているところではありますが、より徹底した節電や節水を行い、省エネを進めていきます。				◎	10
				○	1
				△	3
				×	4
行動内容		平成28年度	取組実績	評価	
方針(2) 省エネを進める					
41	1	電気自動車の導入補助	10件以上	12件	◎
42	2	雨水貯留槽設置の助成	10件以上	5件	△
43	3	市役所の電気使用量の削減(平成25年度比)	2%削減	25年度 1,430,150 28年度 1,469,252 3%増	×
		取組内容の実現に向けて	ロケーションサービスに伴う撮影の際の節電やLED照明導入に向けた調整を行う		
44	4	市役所の都市ガス使用量の削減(平成25年度比)	20%削減	25年度 116,784 28年度 89,451 23%削減	◎



45	5	市役所の水道使用量の削減 (平成25年度比)	2%減	25年度 3,984 28年度 6,162 55%増	×
			取組内容の実現に向けて	維持管理の点検等で水を使用する際に極力少量で清掃を行うなど工夫する	
46	6	あやせエコっと21(事業編)への参加促進※	累計49事業所以上	44事業所	△
47	7	省エネや省資源活動に実績があった事業所への顕彰	1事業所以上	顕彰は行わないと決定	×
			取組内容の実現に向けて	事業所への省エネ普及啓発に関する他の方法を検討する	
48	8	市民・事業所でのクリーンエネルギーカーや燃費基準適合車の導入促進(電気自動車導入補助)	導入補助10件以上	12件	◎
方針(3) 低炭素型都市づくりを進める					
49	9	目久尻川の水辺を活かした親水公園(クールスポット)の整備	目久尻川親水公園の用地買収	詳細設計・検討会を実施。用地については5回交渉を行ったが、地権者の同意を得られなかった。	×
			取組内容の実現に向けて	引き続き交渉する	
50	10	街灯・道路照明のLED化の推進	累計30基以上	H27:18基 H28:10基 計:28基	○
51	11	歩道や散策道など歩行者空間の整備	1路線	買収完了:市道3号線、411号線 工事完了:市道761号線	◎
52	12	自転車道やサイクリングコースの整備	研究	工事完了	◎
53	13	自転車走行ゾーンの検討と整備	1路線	工事完了:市道1号線	◎
54	14	透水性舗装の促進	200m	買収完了:市道3号線、411号線 工事完了:市道761号線	△

方針(4) 蓄エネなどによるエネルギーの有効利用を進める

55	15	スマートエネルギー設備導入補助	30件以上	58件	◎
56	16	事業所における省エネ診断などの促進	1事業所以上	さがみ野工業団地協同組合を対象に、省エネ講座を開催(11月)	◎
57	17	事業所におけるEMS(エネルギーマネジメントシステム)導入の普及・支援	啓発年1回以上	6月1日号の広報に事業所のEMS導入促進を掲載 エコっと21(事業所編)登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載	◎
58	18	事業活動温暖化対策計画届出制度の普及	啓発年1回以上	あやせ環境展で、事業者向け省エネ活動の普及啓発に関する展示(11月)	◎

基本目標② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます 評価

全7項目のうち、No.64-5「公園でのハイブリッド照明灯等の導入」については「未達成」となり、◎5項目、○1項目、×1項目となりました。 引き続き、ハイブリッド照明灯が設置可能な場所がないか情報収集を行い、検討していきます。	◎	5
	○	1
	△	0
	×	1

行動内容	平成28年度	取組実績	評価
------	--------	------	----

方針(1) 太陽光など再生可能エネルギーの活用を進める

60	1	住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成100件以上	83件	○
61	2	共同住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上	1件	◎
62	3	事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上	5件	◎
63	4	市の施設への太陽光発電設備の導入	1施設以上	太陽光パネル設置(綾南小)	◎
64	5	公園でのハイブリッド照明灯等の導入	2基以上	ソーラー照明灯等を設置可能な箇所なし	×
			取組内容の実現に向けて	引き続き設置箇所を検討する	

65	6	風力など未利用エネルギーに関する情報の収集と提供	情報収集	県からの通知等により、未利用エネルギーに関する情報収集	◎
66	7	事業所での未利用エネルギー活用の検討	情報収集	県からの通知等により、再生可能エネルギーに関する情報収集	◎
<b>環境の将来像VI</b> <b>環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築）</b> <small>※目標どおり「◎：100%」、ほぼ目標どおり「○：80%～」、一部未実施又は一部未達成「△：60%～」、未実施又は未達成「×」</small>					総合評価
評価対象の2目標について「目標どおり」となり、◎2項目とすることができました。					◎ 2 ○ 0 △ 0 × 0
<b>基本目標① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます</b>					評価
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。					
<b>基本目標② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます</b>					評価
◎1項目となり、リサイクルプラザでツカエルフェアなどを開催することにより、環境学習拠点として活用することができました。引き続きリサイクルプラザの活用を進めていきます。					◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0
行動内容		平成28年度	取組実績		評価
<b>方針(3) 環境交流と連携を深め、協働を進める</b>					
68	1	環境学習拠点としての活用	事業実施 年4回以上 年1回以上	おもちゃの病院、家具類補充教室、補修ボランティア養成講座、ツカエルフェア実施	◎
<b>基本目標③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます</b>					評価
工場立地法市準則条例の制定について、担当者会議に出席し情報収集をすることができ、◎1項目となりました。条例制定に向けて引き続き研究・情報収集を進めます。					◎ 1 ○ 0 △ 0 × 0
行動内容		平成28年度	取組実績		評価
<b>方針(2) 事業活動における環境対策を進める</b>					
69	1	工場立地法市準則条例の制定	研究・情報収集	工場立地法担当者会議に出席（2回）	◎
<b>基本目標④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます</b>					評価
環境教育推進基本計画アクションプランにより進行管理を実施。					

※環境指標から目標値を見直しています。

【資料編】(3)第2次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

資料1 削減計画内訳達成度

施設名	28年度二酸化炭素排出量(kg-CO2)								28年度 排出量計	25年度 排出量計
	A重油	灯油	都市 ガス	ガソ リン	軽油	LP ガス	天然 ガス	電力		
本庁舎(管財契約課)	0	0	199,476	0	0	0	0	734,626	934,102	798,593
綾北福祉会館(福祉総務課)	0	0	11,839	0	0	0	0	12,707	24,546	23,412
もみの木園(障がい福祉課)	0	0	0	0	0	1,350	0	21,427	22,777	23,044
本蔘川墓園(高齢介護課)	0	0	0	0	0	0	0	2,937	2,937	3,293
大上保育園(子育て支援課)	0	0	21,441	0	0	0	0	31,990	53,431	49,351
綾南保育園(子育て支援課)	0	0	21,462	0	0	0	0	28,582	50,044	50,184
保健医療センター	0	0	0	0	0	118	0	55,014	55,132	53,912
寺尾児童館(青少年課)	0	0	0	0	0	4	0	3,448	3,452	3,724
小園児童館(青少年課)	0	134	0	0	0	33	0	2,678	2,845	2,123
ながぐつ児童館(青少年課)	0	0	2,582	0	0	0	0	8,774	11,356	6,215
リサイクルプラザ	0	374	48,184	0	0	0	0	63,194	111,751	111,036
市内公園(みどり政策課)	0	0	0	949	52	0	0	171,305	172,305	169,950
道路照明灯(道路課)	0	0	0	0	0	0	0	589,335	589,335	657,960
道路補修(道路課)	0	0	0	0	0	96	0	0	96	767
浄水管理センター(下水道課)	0	0	0	0	0	52	0	1,372,112	1,372,164	1,534,575
上土棚中継ポンプ場(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	72,687	72,687	84,757
マンホールポンプ(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	37,492	37,492	38,780
流量計2基(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	24	24	25
消防本部(消防総務課)	0	0	0	0	0	4,245	0	65,953	70,198	81,849
消防北分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,412	0	25,266	27,678	21,697
消防南分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	2,303	0	36,570	38,873	43,039
中央分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,327	1,327	1,230
綾北分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,650	1,650	1,490
寺尾分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,077	1,077	1,174
早園分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	1	0	1,182	1,182	1,093
綾西分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,532	1,532	1,295
綾南分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	985	985	1,386
綾瀬小学校	0	0	39,079	0	0	1	0	134,047	173,126	118,574
綾北小学校	0	249	0	0	0	66	0	76,226	76,541	62,757
綾西小学校	0	946	58,624	12	0	65	0	97,741	157,388	112,918
早園小学校	0	199	76	23	0	0	0	68,499	68,798	52,935
綾南小学校	0	1,970	33	67	0	0	0	94,507	96,576	58,637
天台小学校	0	0	49	54	0	0	0	96,059	96,162	57,800
北の台小学校	0	79,680	0	70	0	60	0	77,669	157,479	152,139
落合小学校	0	64,740	0	44	0	54	0	64,140	128,978	108,848
土棚小学校	0	3,586	44,283	116	0	0	0	63,337	111,322	112,544
寺尾小学校	0	55,427	0	46	0	35	0	78,827	134,336	119,919
綾瀬中学校	0	87,222	0	92	0	32	0	120,389	207,735	158,650
綾北中学校	0	25	0	84	0	68	0	167,825	168,002	229,196
城山中学校	0	114,540	0	88	0	32	0	107,330	221,990	181,165
北の台中学校	0	94,620	0	162	0	123	0	107,064	201,969	178,666
春日台中学校	0	1,514	0	184	0	57	0	125,639	127,394	135,470
学校給食センター	8,130	0	299,886	0	0	0	0	156,871	464,887	565,262
適応指導教室(教育研究所)	0	0	0	0	0	0	0	2,839	2,839	2,717
文化財収蔵庫(生涯学習課)	0	0	0	0	0	6	0	1,453	1,459	2,727
市民スポーツセンター(スポーツ課)	0	0	89,679	0	0	0	0	294,351	384,030	358,491
市民文化センター(文・中・図・高福含む)	0	0	132,281	0	0	0	0	408,703	540,984	509,667
中村地区センター	0	0	0	0	0	48	0	22,587	22,635	18,394
早園地区センター	0	0	0	0	0	53	0	6,057	6,110	5,452
吉岡地区センター	0	0	0	0	0	41	0	11,447	11,488	9,928
綾南地区センター	0	6,285	0	0	0	3	0	22,971	29,258	31,895
北の台地区センター	0	7,799	0	0	0	50	0	23,501	31,349	29,580
寺尾いずみ会館	0	0	59,800	0	0	0	0	59,665	119,465	73,872
南部ふれあい会館	0	0	45,628	0	0	0	0	49,534	95,162	73,959
神崎遺跡資料館	0	0	0	0	0	0	0	9,406	9,406	-
綾西高齢者憩いの家	0	0	0	0	0	0	0	3,811	3,811	-
管財契約課管理公用車	0	0	0	97,832	6,303	0	0	0	104,135	99,243
リサイクルプラザ管理公用車	0	0	0	4,711	126,843	33	830	0	132,418	172,874
道路課管理公用車	0	0	0	4,345	10,120	0	0	0	14,464	17,721
消防総務課管理公用車	0	0	0	57,355	36,066	0	0	0	93,421	81,394
合計	8,130	519,309	1,074,403	166,233	179,383	11,441	830	5,896,363	7,856,092	7,659,347

・小数点以下は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

25・28年度比較		削減目標				28年度目標達成値						
増減率 %	増減量 kg-CO2	削減内容	削減率 %	削減 kg-CO2	達成時 kg-CO2	合計 kg-CO2	削減率 %	削減 kg-CO2	合計達成 成率%	合計達成量 kg-CO2		
17%	135,509	都市ガス△40%	-40.0%	104,171	156,257	581,883	Ⓑ-23.4%	60,953	72.3%	-43,219		
		節電行動 <sup>Ⓐ</sup>	-2.0%	10,763	425,626		36.5%	-196,461	27.4%	-309,000		
		照明器具3,000本をLED化	-20.9%	101,776			0.0%	0				
4.8%	1,134	節電行動 <sup>Ⓐ</sup>	-2.0%	257	12,576	23,155	-1.0%	126	88.9%	-1,391		
-1.2%	-267			436	21,357	22,608	-1.7%	366	99.2%	-168		
-10.8%	-356			66	3,228	3,228	-10.8%	356	109.0%	291		
8.3%	4,081			589	28,879	48,761	8.6%	-2,522	83.8%	-4,670		
-0.3%	-140			545	26,686	49,639	5.0%	-1,352	98.5%	-404		
2.3%	1,220			1,075	52,668	52,837	2.4%	-1,271	95.6%	-2,295		
-7.3%	-272			74	3,637	3,650	-7.1%	264	105.4%	198		
34.0%	722			40	1,948	2,084	34.7%	-691	60.9%	-762		
82.7%	5,140			112	5,468	6,104	57.2%	-3,194	4.0%	-5,252		
0.6%	715			1,226	60,056	109,810	3.1%	-1,912	96.8%	-1,940		
1.4%	2,355					169,950				98.6%	-2,355	
-10.4%	-68,624			道路照明灯50本をLED化	-3.0%	19,466	638,494	638,494	Ⓒ-10.4%	68,624	107.7%	49,159
-87.5%	-671						767				187.5%	671
-10.6%	-162,412				1,534,575				110.6%	162,412		
-14.2%	-12,070				84,757				114.2%	12,070		
-3.3%	-1,288				38,780				103.3%	1,288		
-5.7%	-1				25				105.7%	1		
-14.2%	-11,652	節電行動 <sup>Ⓐ</sup>	-2.0%	1,538	75,379	80,311	-14.3%	10,965	112.6%	10,113		
27.6%	5,981			385	18,875	21,312	31.2%	-6,006	70.1%	-6,366		
-9.7%	-4,166			818	40,084	42,221	-10.6%	4,332	107.9%	3,348		
7.9%	97			25	1,202	1,205	8.2%	-100	89.9%	-122		
10.8%	160			30	1,453	1,460	11.3%	-167	87.0%	-190		
-8.3%	-97			23	1,147	1,150	-8.1%	94	106.4%	74		
8.2%	89			22	1,062	1,071	9.0%	-98	89.6%	-111		
18.3%	237			26	1,263	1,269	18.9%	-243	79.3%	-263		
-29.0%	-401			28	1,356	1,358	-28.9%	399	127.5%	374		
46.0%	54,553			1,847	90,517	116,726	45.1%	-41,682	51.7%	-56,400		
22.0%	13,784			1,219	59,734	61,538	25.1%	-15,273	75.6%	-15,004		
39.4%	44,470			1,447	70,879	111,472	35.1%	-25,416	58.8%	-45,916		
30.0%	15,863			1,018	49,882	51,917	34.6%	-17,600	67.5%	-16,881		
64.7%	37,940			1,149	56,324	57,487	64.4%	-37,033	32.0%	-39,089		
66.4%	38,362			1,127	55,225	56,673	70.5%	-39,707	30.3%	-39,489		
3.5%	5,339			1,343	65,827	150,796	15.6%	-10,499	95.6%	-6,683		
18.5%	20,130			974	47,715	107,874	31.7%	-15,451	80.4%	-21,104		
-1.1%	-1,222			1,259	61,681	111,285	0.6%	-397	100.0%	-37		
12.0%	14,417			1,301	63,731	118,619	21.2%	-13,795	86.7%	-15,717		
30.9%	49,085			2,018	98,906	156,632	19.3%	-19,464	67.4%	-51,104		
-26.7%	-61,193			2,389	117,041	226,807	40.5%	-48,396	125.9%	58,805		
22.5%	40,825			1,728	84,694	179,436	24.2%	-20,908	76.3%	-42,554		
13.0%	23,304			1,777	87,084	176,888	20.5%	-18,202	85.8%	-25,081		
-6.0%	-8,076	2,672	130,928	132,798	-6.0%	7,961	104.1%	5,404				
-17.8%	-100,375	A重油、LPガスを都市ガスに変更	-28.3%	113,591	287,190 (164,481)	451,671	Ⓓ-23.1%	92,765 42,577	95.4%	-13,216		
4.5%	122	節電行動 <sup>Ⓐ</sup>	-2.0%	54	2,657	2,663	4.7%	-128	93.4%	-176		
-46.5%	-1,268			50	2,447	2,677	-41.8%	1,044	149.8%	1,218		
7.1%	25,539					358,491			92.9%	-25,539		
6.1%	31,317					509,667			93.9%	-31,317		
23.1%	4,241					18,394			76.9%	-4,241		
12.1%	658					5,452			87.9%	-658		
15.7%	1,561					9,928			84.3%	-1,561		
-8.3%	-2,637					31,895			108.3%	2,637		
6.0%	1,768					29,580			94.0%	-1,768		
61.7%	45,592					73,872			38.3%	-45,592		
28.7%	21,203					73,959			71.3%	-21,203		
-	-					9,928			105.3%	523		
-	-					3,759			98.6%	-52		
4.9%	4,892					99,243			95.1%	-4,892		
-23.4%	-40,456	塵芥車(軽油)1台をハイブリッド化	軽油 -2.34%	2,915	121,860 (48,099)	169,959	0.0%	0	122.1%	37,541		
-18.4%	-3,256					17,721			118.4%	3,256		
14.8%	12,027					81,394			85.2%	-12,027		
2.6%	196,745			383,368	3,133,025	7,289,666		-247,138	81.9%	-566,426		

[p25 5(1)] Ⓐ: 節電行動設定施設の電力使用に係る平成28年度kg-CO2の合計(2,584,506kg-CO2) ÷ 節電行動設定施設の電力使用に係る平成25年度kg-CO2の合計(2,072,449kg-CO2) ※  
 =約24.7%増 ※電力使用による二酸化炭素排出量から集計(p45参照)

# 参考資料

## 活動項目別・施設別使用量及び二酸化炭素排出量

※ 単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

### 【A重油】

二酸化炭素排出係数：2.71

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
道路補修 (道路管理課)	200	0	-200	542	0	-542	-100.0%
学校給食センター	146,000	3,000	-143,000	395,660	8,130	-387,530	-97.9%
合計	146,200	3,000	-143,200	396,202	8,130	-388,072	-97.9%

### 【灯油】

二酸化炭素排出係数：2.49

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
小園児童館 (青少年課)	40	54	14	100	134	35	35.0%
リサイクルプラザ	243	150	-93	605	374	-232	-38.3%
小学校10校	86,553	83,051	-3,502	215,517	206,797	-8,720	-4.0%
中学校5校	141,814	119,647	-22,167	353,117	297,921	-55,196	-15.6%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	90	0	-90	224	0	-224	-100.0%
地区センター2館	6,321	5,656	-665	15,739	14,083	-1,656	-10.5%
合計	235,061	208,558	-26,503	585,302	519,309	-65,992	-11.3%

### 【都市ガス】

二酸化炭素排出係数：2.23

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
本庁舎 (管財契約課)	116,784	89,451	-27,333	260,428	199,476	-60,953	-23.4%
綾北福祉会館 (福祉総務課)	4,744	5,309	565	10,579	11,839	1,260	11.9%
大上保育園 (子育て支援課)	8,916	9,615	699	19,883	21,441	1,559	7.8%
綾南保育園 (子育て支援課)	10,293	9,624	-669	22,953	21,462	-1,492	-6.5%
ながぐつ児童館 (青少年課)	285	1,158	873	636	2,582	1,947	306.3%
リサイクルプラザ	22,040	21,607	-433	49,149	48,184	-966	-2.0%
小学校6校	47,733	63,742	16,009	106,445	142,145	35,700	33.5%
学校給食センター	0	134,478	134,478	0	299,886	299,886	皆増
市民スポーツセンター (スポーツ課)	35,138	40,215	5,077	78,358	89,679	11,321	14.4%
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	77,290	59,319	-17,971	172,357	132,281	-40,076	-23.3%
寺尾いずみ会館	15,281	26,816	11,535	34,077	59,800	25,723	75.5%
南部ふれあい会館	13,784	20,461	6,677	30,738	45,628	14,890	48.4%
合計	352,288	481,795	129,507	785,602	1,074,403	288,800	36.8%

【ガソリン】

二酸化炭素排出係数：2.32

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり政策課)	379	409	30	880	949	69	7.8%
小学校10校	322	186	-136	748	432	-316	-42.3%
中学校5校	181	263	82	419	610	190	45.3%
公用車	64,905	70,794	5,889	150,580	164,243	13,663	9.1%
合計	65,788	71,652	5,865	152,627	166,233	13,606	8.9%

【軽油】

二酸化炭素排出係数：2.58

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり政策課)	119	20	-99	307	52	-255	-83.2%
公用車	68,511	69,508	997	176,759	179,332	2,573	1.5%
合計	68,630	69,528	898	177,066	179,383	2,318	1.3%

【LPGガス】

二酸化炭素排出係数：3.00

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
もみの木園 (障害福祉課)	417	450	33	1,251	1,350	99	7.9%
保健医療センター	56	39	-17	169	118	-51	-30.0%
児童館2館	16	12	-4	49	37	-12	-24.1%
道路補修 (道路管理課)	75	32	-43	225	96	-129	-57.3%
浄水管理センター (下水道課)	47	17	-30	141	52	-89	-63.4%
消防本部 (消防総務課)	1,644	1,415	-229	4,932	4,245	-687	-13.9%
消防北分署 (消防総務課)	812	804	-8	2,437	2,412	-25	-1.0%
消防南分署 (消防総務課)	712	768	55	2,137	2,303	166	7.8%
分団6車庫 (消防総務課)	10	0	-10	30	1	-29	-97.0%
小学校6校	54	94	40	162	281	119	73.0%
中学校5校	124	104	-19	371	313	-58	-15.6%
学校給食センター	1,707	0	-1,707	5,121	0	-5,121	-100.0%
適応指導教室 (教育研究所)	2	0	-2	6	0	-6	-100.0%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	2	2	0	6	6	0	0.0%
市民スポーツセンター (スポーツ課)	46	0	-46	138	0	-138	-100.0%
地区センター5館	99	65	-34	296	195	-101	-34.1%
小計	5,823	3,803	-2,021	17,469	11,408	-6,062	-34.7%
公用車	14	11	-3	42	33	-9	-21.2%
合計	5,837	3,814	-2,023	17,511	11,441	-6,070	-34.7%

【天然ガス】

二酸化炭素排出係数：2.22

施設名	使用量 (m3)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)			
	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
公用車	900	374	-526	1,998	830	-1,168	-58.4%
合計	900	374	-526	1,998	830	-1,168	-58.4%

【電力】

施設名	使用量 (kWh)			二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		
	25年度 (基準年度)	28年度	対基準年度 増減量	25年度(基準年度)		
				電力事業者	排出係数	排出量
本庁舎(管財契約課)	1,427,493	1,469,252	41,759	昭和シェル石油(株)	0.377	538,165
綾北福祉会館(福祉総務課)	24,213	25,414	1,201	東京電力(株)	0.530	12,833
もみの木園(障害福祉課)	41,119	42,854	1,735			21,793
本蓼川墓園(高齢介護課)	6,214	5,874	-340			3,293
大上保育園(子育て支援課)	55,600	63,980	8,380			29,468
綾南保育園(子育て支援課)	51,378	57,164	5,786			27,230
保健医療センター	101,402	111,139	9,737			53,743
児童館3館(青少年課)	21,281	29,799	8,518			11,279
リサイクルプラザ	115,626	127,331	11,705			61,282
		(84,424)				
		(42,907)				
市内公園(みどり政策課)	318,421	342,609	24,188			168,763
道路照明灯(道路管理課)	1,241,434	1,178,671	-62,763			657,960
浄水管理センター(下水道課)	2,895,159	3,015,225	120,066			1,534,434
		(1,492,749)				
上土棚中継ポンプ場(下水道課)		(1,522,476)				
	159,919	158,935	-984			84,757
		(82,748)				
マンホールポンプ(下水道課)	73,170	74,984	1,814			38,780
流量計2基(下水道課)	48	48	0			25
消防本部(消防総務課)	145,127	131,905	-13,222			76,917
消防北分署(消防総務課)	36,340	50,532	14,192	19,260		
消防南分署(消防総務課)	77,173	73,139	-4,034	40,902		
分団6車庫(消防総務課)	14,410	15,503	1,093	7,637		
小学校10校	1,499,289	1,756,284	256,995	(株)エネット	0.423	634,199
内訳		(892,822)				
		(863,462)				
中学校5校	1,251,156	1,296,296	45,140	(株)エネット	0.423	529,239
内訳		(669,493)				
		(626,803)				
学校給食センター	310,342	320,800	10,458	(株)エネット	0.423	164,481
適応指導教室(教育研究所)	5,115	5,678	563	東京電力(株)	0.530	2,711
文化財収蔵庫(生涯学習課)	4,711	2,905	-1,806		0.530	2,497
市民スポーツセンター(スポーツ課)	528,294	606,909	78,615		0.530	279,996
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	797,425	817,406	19,981	(株)エネット	0.423	337,311
地区センター5館	149,460	167,447	17,987	東京電力(株)	0.530	79,214
内訳		(115,836)				
		(51,611)				
寺尾いづみ会館	75,086	119,330	44,244	東京電力(株)	0.530	39,796
南部ふれあい会館	81,548	99,067	17,519	東京電力(株)	0.530	43,220
神崎遺跡資料館	0	18,811	18,811	-	0	0
綾西高齢者憩いの家	0	7,621	7,621	-	0	0
合計	11,507,953	12,192,912	684,959			5,501,186



二酸化炭素排出量 (kg-CO2)				
28年度			対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
電力事業者	排出係数	排出量		
東京電力㈱	0.500	734,626	196,461	36.5%
		12,707	-126	-1.0%
		21,427	-366	-1.7%
		2,937	-356	-10.8%
		31,990	2,522	8.6%
		28,582	1,352	5.0%
ミツロコグリーンエネルギー㈱	0.495	55,014	1,271	2.4%
東京電力㈱	0.500	14,900	3,621	32.1%
		63,194	1,912	3%
東京電力㈱	0.500	(42,212)		
伊藤忠エネクス㈱	0.489	(20,982)		
東京電力㈱	0.500	171,305	2,541	1.5%
		589,335	-68,624	-10.4%
		1,372,112	-162,322	-10.6%
東京電力㈱	0.500	(746,375)		
丸紅電力㈱	0.411	(625,738)		
		72,687	-12,070	-14.2%
東京電力㈱	0.500	(41,374)		
丸紅電力㈱	0.411	(31,313)		
東京電力㈱	0.500	37,492	-1,288	-3.3%
		24	-1	-5.7%
		65,953	-10,965	-14.3%
		25,266	6,006	31.2%
		36,570	-4,332	-10.6%
		7,752	114	1.5%
		851,052	216,852	34%
伊藤忠エネクス㈱	0.489	(436,590)		
㈱F-Power	0.480	(414,462)		
		628,248	99,009	19%
伊藤忠エネクス㈱	0.489	(327,382)		
㈱F-Power	0.480	(300,865)		
伊藤忠エネクス㈱	0.489	156,871	-7,610	-4.6%
東京電力㈱	0.500	2,839	128	4.7%
		1,453	-1,044	-41.8%
リエスパワー㈱	0.485	294,351	14,355	5.1%
東京電力㈱	0.500	408,703	71,392	21.2%
		86,562	7,348	9.3%
東京電力㈱	0.500	(57,918)		
イーレックス㈱	0.555	(28,644)		
東京電力㈱	0.500	59,665	19,869	49.9%
		49,534	6,313	14.6%
		9,406	9,406	皆増
		3,811	3,811	皆増
		5,896,363	395,176	7.2%

【 資料編 】

(4) あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）

※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%～」、一部未実施又は一部未達成「△:60%～」、未実施又は未達成「×」

(1) 人材の育成と活用: 4項目				総合評価	
環境に関する専門的な知識を持つ指導者の育成や活用、学校等教職員の指導力向上に取り組み、4項目全てを「目標どおり」実施しました。				◎	4
				○	0
				△	0
				×	0
ア 指導者の育成等	28年度	取組実績	評価		
① 学校等教職員の指導力向上					
1 教職員の環境に関する研修会等への参加	5人以上	小学校教頭会で研修を実施(7月)10人参加、自然環境調査研究会を実施45人参加	◎		
② 地域社会における指導者の育成					
2 地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加	2人以上	指導者養成講座を開催(2月)53人参加	◎		
イ 人材の活用(指導者等の活用)	28年度	取組実績	評価		
3 環境に関する知識を有する人材の活用による講座等の実施	2講座以上	あやせ環境展(6月)や指導者養成講座(2月・3月)で大学教授などに講師を依頼	◎		
4 学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等への講師派遣	2回以上	ソーラークッカーを作ろう!(7月)や野草等観察会(10月)で講師を依頼	◎		
(2) プログラム等の整備と活用: 6項目				総合評価	
学習教材やプログラム集を活用し、市民への環境保全に関する取組機会の提供に取り組み、6項目全てを「目標どおり」実施しました。				◎	6
				○	0
				△	0
				×	0
ア 教材・プログラムの整備	28年度	取組実績	評価		
5 発達段階、理解力、活動の場やテーマに応じ学習段階ごとのねらいを明らかにした体系的な環境教育プログラムの整備	補完	各団体や企業、事業所などに依頼し、内容を追加・補完した環境学習プログラム集の第2版を作成(10月)	◎		
6 市民・市民団体の有するノウハウを活かした体験型環境教育プログラムの整備			◎		
7 学校等における環境問題が正しく理解できるよう発達段階に応じた教材等の整備	2教材以上	学校用副教材として「綾瀬の野草と生物」及び「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ」の改訂に向けた研究を行った。	◎		
イ 教材・プログラムの活用	28年度	取組実績	評価		
8 プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担う指導者や教職員へのプログラムの情報提供	1回以上	環境学習プログラム集第2版を発行し、学校やPTA、子ども会、自治会等へ配付(10月)	◎		
9 環境教育に関する教材、書籍、DVD等の活用	2教材以上	「綾瀬の野草」「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ」を、小中学校の環境学習の際に活用	◎		

10	環境教育プログラム作成に伴う、市民・市民団体の協力	3団体以上	9の団体・事業所が協力	◎
<b>(3) 参加の場や機会づくり: 37項目</b>				<b>総合評価</b>
全37項目のうち、No.42「エコっと21事業所編の参加促進」については、周知を図ったものの参加が得られなかったため、「一部未実施」となりました。また、No.18「環境展等のイベントの実施」については、あやせ環境展の実施方法の見直しに伴い、年2回の開催とすることとしたため、「一部未達成」となりました。				◎ 35
保育園では、子どもたちが収穫したさつま芋を使った給食で地産地消を啓発するなどして「環境保育」を実施し、幼児を対象とした環境教育に取り組みました。				○ 0
また、イベントや講座を通して、市民活動団体との連携や家庭での省エネの実践機会の提供も推進し、35項目を「目標どおり」実施しました。				△ 2
				× 0
<b>ア 学校等における環境教育等の充実</b>		<b>28年度</b>	<b>取組実績</b>	<b>評価</b>
<b>① 幼稚園・保育園での環境教育の充実</b>				
幼児が、周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うため、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムの幼稚園や保育所への導入を支援します。				
11	幼児が、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムを幼稚園や保育所へ提供	2園以上	環境学習プログラム集第2版を発行し、市立保育園に周知(10月)	◎
<b>環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち</b>				
<b>基本目標Ⅰ-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます</b>				
12	自然(草花)やいきものへの興味と愛着を持つことを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
<b>基本目標Ⅰ-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます</b>				
13	地産地消の給食を導入する	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
<b>環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち</b>				
<b>基本目標Ⅱ-2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります</b>				
14	水の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
<b>環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち</b>				
<b>基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします</b>				
15	園児とともに、園内及び園庭など施設周辺の清掃の実施	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
<b>環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち</b>				
<b>基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します</b>				
16	分別や資源の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
<b>環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち</b>				
<b>基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます</b>				
17	省エネ行動(節電・節水)を学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
<b>イ 家庭・地域社会における環境教育の充実</b>		<b>28年度</b>	<b>取組実績</b>	<b>評価</b>
<b>① 環境に関する学習機会の充実</b>				
地球温暖化の防止、生物多様性の保全、健全な物質循環を課題として捉え、廃棄物などの身近なものから地球規模の環境課題まで広範囲にわたる内容とし、環境課題ごとの関連性についても理解できるような環境教育を展開します。				

知識や理解に実感を持たせ行動に結びつけるため、自然や暮らしの中での体験活動や実践体験を取り入れた、各種の体験型教室等を環境教育の中心に位置付け開催します。				
18	環境展等のイベントの実施	4回以上	あやせ環境展の実施(6月・11月)	△
19	体験学習等講座(教室)の実施	4回以上	ダムを学ぼう(7月)、ソーラークッカーをつくろう(7月)、親子料理教室(7月)、目久尻川で水質検査(7月)、親子リサイクル現場学習会(8月)、野草等観察会(10月)	◎
<b>② 市民団体との連携・協働と支援</b>				
20	市民団体と連携・協働して各種教室等の実施	4回以上	あやせ環境ネットワークなどとの協力により講座を実施	◎
21	団体活動の支援	1団体以上	NPO法人ふるさと環境市民、綾瀬城山ほたる保存会	◎
<b>ウ 事業所が行う環境教育等への支援</b>		<b>28年度</b>	<b>取組実績</b>	<b>評価</b>
22	事業所対象の講座等の実施	1回以上	さがみ野工業団地協同組合を対象に省エネ講座を実施(11月)	◎
23	従業員向けの環境教育プログラムの提供	1回	環境学習プログラム集第2版をあやせ環境ネットワーク(商工会・工業団地等加入)へ配付	◎
24	事業所が実施する環境教育情報の提供	1回	環境学習プログラム集第2版をあやせ環境ネットワーク(商工会・工業団地等加入)へ配付	◎
<b>※ 家庭・地域社会・事業者共通</b>		<b>28年度</b>	<b>取組実績</b>	<b>評価</b>
<b>環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち</b>				
<b>基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます</b>				
25	生物多様性に係る情報の提供	2回以上	緑化フェア(5月)、環境展(6月)で生物多様性について情報提供	◎
26	自然観察会・学習会など啓発活動の実施	2回以上	ダムを学ぼう(7月)、野草等観察会(10月)などを実施	◎
<b>基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします</b>				
27	市内の自然や緑に関する情報の提供	1回以上	緑化フェア(5月)の開催	◎
<b>基本目標 I-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります</b>				
28	河川等水辺の美化活動の実施	50人以上	目久尻川クリーンアップ大作戦(5月・10月)計55人参加、比留川の清掃(7月)18人参加	◎
<b>基本目標 I-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます</b>				
29	ふれあい農業体験の実施	1回以上	計8回30組参加	◎
30	地場農産物を活用した料理教室の実施	1回以上	計5回実施	◎
31	食育講座の実施	1回以上	保健医療センターで実施(9月)し、48人参加	◎

<b>環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち</b>			
<b>基本目標Ⅱ-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします</b>			
32	低公害車の普及・啓発事業の実施	1回以上	あやせ環境展(11月)で、電気自動車 を展示 ◎
33	エコドライブの啓発事業の実施	1回以上	あやせ環境展(11月)で、エコドライ ブシミュレータの体験ブース設置 ◎
<b>環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち</b>			
<b>基本目標Ⅲ-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます</b>			
34	文化財保護啓発事業の実施	1回以上	文化財企画展を実施(8月) ◎
<b>基本目標Ⅲ-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます</b>			
35	自然災害への意識啓発事業の実施	1回以上	市総合防災訓練を実施(9月) ◎
<b>環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち</b>			
<b>基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します</b>			
36	リデュース(ごみの発生抑制)の啓発	3回以上	自治会研修会、小学生見学会で の啓発 ◎
<b>基本目標Ⅳ-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます</b>			
37	3Rの普及・啓発事業の実施	4回以上	おもちゃの病院、家具類補充教 室、補修ボランティア養成講座、ツ カエルフェア実施 ◎
<b>環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち</b>			
<b>基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます</b>			
38	エネルギーや地球温暖化に関する講 座の実施	2回以上	ソーラークッカーを作ろう(7月)、事 業所対象省エネ講座(11月) ◎
39	省エネ・創エネ体験などのエコイベン トの実施	2回以上	ソーラークッカーを作ろう(7月)、あ やせ環境展で発電体験コーナ ーを設置(11月) ◎
40	エコっと21家庭編の参加促進	100人以上	応募者130人 ◎
<b>環境の将来像Ⅵ 環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみ んなで協働するまち</b>			
<b>基本目標Ⅵ-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進 めます</b>			
41	公開講座「ふるさと学習」の実施	1回以上	海藻をとおして海の環境保全を考 える「海藻おしば教室」を実施(8 月) ◎
<b>基本目標Ⅵ-2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組 みます</b>			
42	エコっと21事業所編の参加促進 ※①	49社以上	44社 △
43	農業理解に役立つ情報提供(広報紙 等掲載)	1回以上	ふれあい農業体験収穫祭時、農業 や畜産のPR資料を配布(12月) ◎
<b>基本目標Ⅵ-4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます</b>			
44	環境関連報告書の発行	1回	平成27年度環境報告書発行(12 月) ◎
45	カワセミ新聞の発行	1回	カワセミ新聞を発行(11月) ◎

エ 市職員への環境教育の推進(環境政策課)		28年度	取組実績	評価	
46	あやせEMSの運用	不適合0	不適合0件	◎	
47	研修会の実施	1回以上	EMS実行員研修(4月)、指導者養成講座(2月・3月)	◎	
<b>(4) 情報提供と相談体制の整備: 2項目</b>				<b>総合評価</b>	
環境月間や環境都市宣言などの機会をとらえて、環境教育等を含む環境保全に関する情報の提供に取り組み、2項目全てを「目標どおり」実施しました。				◎	2
				○	0
				△	0
				×	0
ア 情報の提供		28年度	取組実績	評価	
48	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関し、広報あやせ、市ホームページや環境展等における情報提供	4回以上	環境月間の特集や美化活動、環境学習講座、環境展開催を広報に掲載	◎	
イ 相談、問合せへの対応		28年度	取組実績	評価	
49	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関する相談、問合せなどへの適切な対応	適宜	環境教育などのイベントに係る問い合わせなどへの対応を適宜実施	◎	

□ 小・中学校における行動計画:アクションプラン(学習指導要領)小学校14、中学校22、計36項目

**(3) 参加の場や機会づくり—② 小学校・中学校での環境教育の充実(教育指導課)**

各教科、道徳、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通して環境教育に取り組むよう指導します。

学習指導要領に基づき、地球温暖化対策(省エネルギー等)や資源循環(リサイクル等)、生物多様性の保全に関わる事項(生物多様性の重要性等)といった地球規模の環境問題と私たちの生活に関わりのあることなどを取り上げるよう指導します。

児童・生徒それぞれの発達の段階に応じた、環境に関する教育を実施します。実施にあたっては、児童・生徒が環境に関する正しい知識を習得するとともに、自ら体験することに重点を置いた指導に努めます。

地域の田畑、公園、緑地等を体験活動の場として、学校に応じて活用するよう指導します。

**環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち**

基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます		
1 2	小学校	身近な自然の観察
		生物間の食う食われるという関係などの生物と環境とのかかわりを学ぶ
1 2 3 4	中学校	自然環境の保全と科学技術の利用の有り方について学ぶ
		自然環境を調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを学ぶ
		自然環境保全の重要性を学ぶ
		地球温暖化、外来種を学ぶ
基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします		
3 5	小学校	自然環境を大切にすることを学ぶ
	中学校	生物の育成環境と育成技術、生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育を学ぶ

		<b>基本目標Ⅰ-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります</b>
4	小学校	自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にすることを学ぶ
6	中学校	自然愛護を学ぶ
		<b>基本目標Ⅰ-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます</b>
5	小学校	綾瀬の農業を学ぶ※②
		<b>環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち</b>
		<b>基本目標Ⅱ-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします</b>
6	小学校	公害から健康や生活環境を守ることの大切さを学ぶ
7		公害の防止など環境の保全を学ぶ
8	中学校	放射線の性質と利用を学ぶ
9		地域の実態に即して公害と健康の関係を学ぶ
		<b>基本目標Ⅱ-2 ささまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります</b>
7	小学校	綾瀬の水環境を学ぶ※②
		<b>環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち</b>
		<b>基本目標Ⅲ-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます</b>
8	小学校	自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域について学ぶ
10	中学校	世界の人々の生活や環境の多様性を学ぶ
		<b>基本目標Ⅲ-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます</b>
9	小学校	国土の保全のための森林資源の働きや自然災害の防止を学ぶ
		<b>基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします</b>
10	小学校	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などの工夫を学ぶ
11	小・中学校	美化標語・美化ポスターへ応募する※②
		<b>環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち</b>
		<b>基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します</b>
12	中学校	環境の保全に十分に配慮した廃棄物処理の必要性を学ぶ
		<b>基本目標Ⅳ-2 資源を大切に、再使用や再生利用を進めます</b>
12	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
13	中学校	自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫と実践を学ぶ
		<b>環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち</b>
		<b>基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます</b>
13	小学校	節水や節電などの資源の有効な利用を学ぶ
14		環境やエネルギーに関する課題を学ぶ
15	中学校	地球環境、資源・エネルギーなどの課題解決のための経済的、技術的な協力の大切さを学ぶ
16		日常生活や社会における様々なエネルギー変換の利用を学ぶ
17		人間は、水力、火力、原子力などからエネルギーを得ていること、エネルギーの有効利用の大切さを学ぶ

環境の将来像VI 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち		
基本目標VI-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます		
14	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
18	中学校	自然環境が地域の人々の生活や産業と関係をもっていることを学ぶ
19		持続可能な社会の構築のため、地域における環境保全の取組の大切さを学ぶ
20		持続可能な社会の形成の観点から解決すべき課題探求を学ぶ
21		持続可能な社会をつくることの重要性を学ぶ
22		技術の進展が資源やエネルギーの有効利用、自然環境の保全に貢献することを学ぶ


※①:環境指標から目標値を見直しています。


※②:市独自の取組





【 資料編 】


(5) 市民環境団体の活動報告 (50音順)


あやせ環境ネットワーク	高澤 良夫
団体の目的・平成28年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <p>第2次綾瀬市環境基本計画の推進を図るため、市と連携して持続可能な社会づくりを目指し、活動しています。</p>	 <p>(親子料理教室の様子)</p>
<p>【平成28年度の活動概要】</p> <p>運営委員会の開催 各プロジェクトチームで啓発事業等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生向けの講座 (水生生物調査、自然体験学習会)</li> <li>・一般市民や事業所向けの講座 (親子料理教室、親子リサイクル現場学習会、3R啓発教室、省エネ講座)</li> <li>・あやせエコクラブ</li> <li>・調査研究事業 (城山発電所視察)</li> <li>・あやせエコっと21(家庭編)キャンペーン</li> </ul>	

団体名	代表者
あやせくらしの会	大住 久江
団体の目的・平成28年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <p>会員及びその友達同士のコミュニケーション。年を重ねる毎に悩み喜びは変わる。お互いの環境を理解すること。市の行事に協力して、健康に留意し助け合う社会になっていくこと。</p>	 <p>(神奈川県消費者の会連絡会 理事長 今井 澄江 氏)</p>
<p>【平成28年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月：神崎遺跡</li> <li>7月：市議会傍聴</li> <li>9月：料理教室</li> <li>10月：社会見学</li> <li>11月：市主催環境展参加</li> <li>1月：基地問題講演会参加</li> <li>2月：男女共同参画講演会参加 機能性食品に関する勉強会</li> <li>3月：ホームへ手作り品寄贈</li> </ul>	


団体名	代表者
綾瀬城山ほたる保存会	吉田 誠
団体の目的・平成28年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <p>市内のホタルの保存活動を通して、豊かな都市環境を創造するため活動しています。</p>	 <p>(小学生への説明)</p>  <p>(鑑賞会の様子)</p>
<p>【平成28年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生息地整備</li> <li>・ホタル飛翔期間中のホタルガイド</li> <li>・観賞会の開催</li> <li>・ほたるボランティアセミナー開催によるボランティアの募集及びスキルアップ</li> <li>・行事参加による普及啓発（市環境展、市民活動フェスタ等への出展）</li> <li>・小学校の総合学習や各団体主催行事への講師派遣</li> </ul>	



団体名	代表者
あやせ緑普及会	川崎 敏布
団体の目的・平成28年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <p>平成23年3月11日の東日本大震災により、私たちには想定外の電力不足がのしかかり、日常生活を考えさせられて、省エネ問題が大きく取り沙汰された。仲間では何とかエコ活動を立ち上げたいと思い立ち、つる性植物配布でエコへ貢献する。</p>	 <p>(ナタマメ 賛助者提供写真)</p>
<p>【平成28年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は緑増進活動のための地域選びで苦労しました・つる性ナタマメ苗床づくり</li> <li>・種まき・棚作製・育成管理の実施</li> <li>・苗提供用種蒔き（ゴーヤ・ナタマメ・マリゴールト・千日香・朝顔を重点とした）</li> <li>・賛助者より苗の受け取り（苗育成者で）</li> <li>・賛助会員へ苗配布（配布先は可動）</li> <li>・収穫マメの種保管事業</li> <li>・来年度以降の事業計画・準備・調整（ナタマメ茶づくり体験、ひまわりの絨毯）</li> </ul>	

団体名	代表者
落合キツツキの森管理委員会	福島 國美
団体の目的・平成28年度の活動概要	
<p><b>【団体の活動目的】</b> 管理区域全体の3割程度をできるだけ自然に近い状態の実現を目的とする。</p>	 <p>(野草等観察会の様子)</p>
<p><b>【平成28年度の活動概要】</b> 3つの森（落合キツツキの森、取内の森、野あざみの森）での作業は草刈りと歩道の整備が主ですが、今年から除草のためのネット張り、野草の種類別による区割整備をしました。</p>	

団体名	代表者
おもちゃの病院あやせ	岩淵 寿幸
団体の目的・平成28年度の活動概要	
<p><b>【団体の活動目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃの修理により、物を大切にすることを伝え、リサイクル意識の改善を推進する（リサイクル）</li> <li>・おもちゃを通して、ドクターと子供たちのコミュニケーションを図る（地域参画）</li> <li>・ドクターの技術向上と健康管理（生涯学習）</li> </ul>	 <p>(活動の様子)</p>
<p><b>【平成28年度の活動概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第1・3日曜日 午後1時～午後3時 リサイクルプラザで開院しています。</li> <li>・平成28年度は、24回開院し145個のおもちゃを受付しました。その内132個を修理完了し、返却できました。</li> <li>・たくさんの子供たちが、修理完了したおもちゃを手にして喜んでもらえることで、ドクターも元気を分けていただいています。</li> <li>・前年度より受付件数で60個も減少しているので、PR活動を強化検討の必要がありそうです。</li> </ul>	



団体名	代表者
地球チャイルド	松本 俊雅
団体の目的・平成28年度の活動概要	
<p><b>【団体の活動目的】</b>  子供たちが地球環境の大切さを理解し、将来、地球を大好きな人になってもらうことを目的に、実際に土や水と触れ合える農業体験を中心とした自然体験活動を提供しています。</p>	 (活動の様子)
<p><b>【平成28年度の活動概要】</b>  4月：竹の子探し体験  5月：水田の代かき体験  6月：田植え体験  7月：水田の除草体験  8月：藍の生葉で藍染め体験  9月：サツマイモ掘りと焼き芋体験  10月：稲刈り&amp;お餅つき体験  1月：津久井在来種で豆腐作り体験  2月：ソーセージ作り体験  3月：水田で野草観察&amp;試食体験</p>	

団体名	代表者
長峰の森管理委員会	内藤 英雄
団体の目的・平成28年度の活動概要	
<p><b>【団体の活動目的】</b>  長峰の森は市の「緑のネットワーク構想推進」の一つとして地権者、自治会、ボランティア有志の方々の協力により平成12年自然公園としてスタートしました。運営は管理委員会が中心となり、市のみどり公園課の支援のもと活動しています。</p>	  (活動の様子)
<p><b>【平成28年度の活動概要】</b>  綾瀬西高校、綾瀬高校、生蘭高等専修学校、日々輝学園、ボランティア等の団体が年2回～3回活動に参加して小鳥の巣箱製作、設置、シイタケの天地返しなど応援に参加してもらっています。  平成28年度は上深谷老人会へ、シイタケの植菌作業やBBQ会の憩いの場所としても提供しています。綾瀬青年会議所主催で1泊2日の「キャンプ in 長峰」も恒例行事となっています。</p>	

団体名	代表者
NPO法人 ふるさと環境市民	西 壽子
団体の目的・平成28年度の活動概要	
<p><b>【平成28年度の活動概要】</b></p> <p>1、環境学習出前講座  「ふるさとの宝をさがそう！博士大集合」  エネルギー、地球、もったいない、お日様、ふるさとの宝カルタ、ホテルの博士による出前授業。綾西小学校、北の台小学校、その他県内の小・中学校等で実施。（神奈川県からの受託事業他）</p> <p>2、市民提案型協働事業及び委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球の未来とエネルギー展」開催（環境政策課からの委託事業）</li> <li>・まちかどガーデンフォトコンテスト（みどり政策課との協働事業）</li> <li>・もったいないを親子で学ぼう  「エコでおしゃれな新聞バックづくり」（リサイクルプラザとの協働事業）</li> <li>・夏休み親子環境教室  「ミニソーラークッカーを作ろう」（環境政策課委託事業）</li> </ul> <p>3、「ふるさとの宝カルタ」普及出前講座等市役所、小・中学校、公民館などで実施</p> <p>4、つなごう みんなでふるさとの川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目久尻川クリーンアップ大作戦  5月・10月の年2回清掃活動</li> <li>・目久尻川ふれあいウォーク  12月実施</li> <li>・不法投棄ウッチング  目久尻川等の不法投棄物の監視・通報</li> </ul> <p>5、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あやせ緑化フェア協力（パネル展示、エコイズ実施）</li> <li>・青年会議所 ネイチャーシップ事業協力</li> <li>・環境講座講師派遣</li> </ul>	    <p style="text-align: center;">(活動の様子)</p>

【 資料編 】

(6) エコっと21 (事業所編) 登録事業所活動報告

登録番号 事業所名	平成28年度取組の感想
第18-0001 綾瀬市商工会	<p>事務所内のOA関連用品の使用量削減への取組やリサイクル品の使用により少しずつですが、環境負荷の削減に努力しています。</p> <p>会員に対し、アルミ缶とプルタブ収集協力を依頼しています。また、広報により企業のみならず市民の皆様もアルミ缶とプルタブを商工会館に持ち寄っていただけるようになりました。</p> <p>会館内に設置した自動販売機は、緑の募金に対応しており、当会並びに自動販売機設置業者が寄付しています。</p> <p>しかしながら、事務所で使っているプリンターメーカーは、リサイクルでなく純正トナーの使用を推奨しており、保証期間内でも純正品を使用していない場合は保証対象外との見解で、リサイクル品を使いにくいのが現状です。</p>
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	<p>ワイ・ケー電子の恒例行事として9年目を迎えたビーチクリーン活動を全従業員並びにお客様にも参加していただき自然環境との調和に配慮し、景観の保全に取り組むことができました。今後も継続、推進してまいります。</p> <p>外部から製品の環境負荷に関するデータ提供の依頼には、製品アセスメントに対して重要事項と認識して全てのステークホルダーとの信頼関係を築くように対応させていただきました。今後も継続、推進してまいります。</p>
第19-0005号 ㈱横浜製作所	<p>平成28年度の電気使用量の削減について、工場の照明を調整するなどして年間を通じ削減することができました。廃棄物の排出費は、目標値を若干ですがオーバーしました。</p> <p>平成28年度の「本来業務の作業改善の取組」ですが、具体的な活動となるとなかなか難しく、削減目標には到達しませんでした。今年度も引き続き「本来業務の作業改善の取組」を主な活動として環境負荷の低減に努めていきます。</p>
第19-0007号 ㈱加藤工務店	<p>昨年度に引き続き、建築現場より出るごみの分別の徹底、低減化に力をいれました。新築現場においては、複層ガラス建具、断熱材、ハイブリット給湯器、無垢材の使用等々、様々なエコ商品を使用することにより、地球温暖化防止にもつながる取組をしてきました。</p> <p>今後も継続して取り組んでいくつもりです。</p>
第19-0008号 ㈱ラテン大和	<p>「再生」という点は、社内でも浸透しています。</p> <p>時間帯による消灯活動については、営業部門が常に稼働していて一斉消灯が難しいのが現状（最低限の照明を心掛けている）です。</p> <p>不完全な部分に関しては、部署ごとの改善策を再検討中です。</p>
第20-0001号 相鉄バス㈱ 綾瀬営業所	<p>平成28年度は、前年度まで実施しておりました施設面における照明関係のLED化は全て完了していることから、更なる省エネを推進し環境負荷を低減させるために、全営業所員が一丸となり事務用品及び電気・水道・ガスの節約に取り組んでまいりました。</p> <p>また、車両の代替につきましては、低公害・高燃費アイドリングストップ車、更には、排ガスのクリーン化に役立つ尿素バスの導入を推進するため、計14両の新型車両を導入いたしました。なお平成29年度の車両の代替計画は今のところ未定です。</p>



<p>第20-0002号 株メイコー</p>	<p>平成28年度に引き続き環境関連予算の増額は見送られ予算的には厳しい状況ですが、人員は1名増員されました。 環境意識を高めるため、廃棄物の分別に対するメリットを全体朝礼にて説明するなど、今年度も小さい効果と思われませんが地道な活動を継続していきます。 また、今年度はリスクサーベイ調査を実施し、その対策をとっていくことを決めましたので、その中で若干環境対応が進むものと期待しています。</p>
<p>第20-0003号 株東牧土木</p>	<p>目標としている取組みは日常的になっております。今後も引き続き、環境負荷の低減に努めていきます。</p>
<p>第20-0004号 株ネエチア</p>	<p>今期（平成28年7月～平成29年6月）も、前年度に引き続き間接的に環境負荷を減らす事を目的として本来業務とISO活動を完全に一体化させる活動を行いました。今期、残り一ヶ月目標の達成実現へ向け精進いたします。 また、今期は社内外に設置の自動販売機2台の更新を行い、電気消費量が少ないものへ変更いたしました。</p>
<p>第20-0005号 株青柳商店</p>	<p>環境意識を念頭に置いて、取り組めることは実施するよう努めました。小さなことではありますが、今後できることは取り組んでいこうと心がけていきます。</p>
<p>第20-0006号 株山勝</p>	<p>当社は経費削減の意味合いも含め、使用エネルギーの削減を恒常的に取り組んでいます。 今回も前年同様電気使用量や燃料使用量は「削減」の結果となりました。これは企業努力としての使用しないトラックの削減や使用しない設備の除却などの企業努力と社員の経費削減意識の高まりに起因するものと判断しています。</p>
<p>第20-0007号 株栄和産業</p>	<p>平成28年度は各工場でゴーヤを育て緑のカーテンを作り夏場の冷房費節減に努めました。それぞれの工場が省エネをテーマに水やり、追肥しながら育て、収穫して食した過程で団結力が高まり予想以上の活動となりました。今年度も環境改善活動に社員全員で取り組んでいきたいと思えます。</p>
<p>第20-0008号 株タズミ</p>	<p>平成28年度も、焼却されていた廃棄物の燃料化を推進し、自治体からの一般廃棄物・産業廃棄物や食品系製造事業所からの産業廃棄物等の燃料化を推進した結果、平成28年度は10,461tを燃料として販売し利用されました。 また、環境負荷低減（地球温暖化防止対策等）の取組としては、最新規格の車両への切り替え、エコドライブやエコ操作は継続的に実施し効果を維持するとともに、工場部門では設備保全や原料の調合の工夫により、生産性を維持、使用した電力や水は、原単位でも効率的に使用することができました。 さらに事務用什器の更新や備品の購入については、環境負荷の少ない製品（グリーン購入品など）の購入の拡大に努めました。</p>
<p>第20-0009号 株デザインルーム</p>	<p>少しずつですが、習慣になってきたと思います。</p>

<p>第22-0001号 株紺野企業</p>	<p>今般行った取組としては、例年どおり敷地内の緑化にゴーヤとサンパチェンスを一緒に植えるグリーンカーテンにより、さらなるCO<sub>2</sub>削減を行ったことと新たに花壇を造りました。継続的施設として機械選別施設を重点対象とし、金属くず（スチール缶・アルミ缶）、PETボトル、ガラス瓶等の選別を開始しました。カーボンオフセットも導入し受け入れ廃棄物に対してオフセット（相殺）していくことを採用しております。</p> <p>当事業所では、継続的に行われているエコアクション21の環境活動の中で主に燃料使用量の削減や工場設備の電気使用量の削減並びに排出抑制のための紙の使用量抑制に取り組んでまいりました。燃料使用量に関しては、車両の増車に伴う低公害車、低燃費車の導入を行い、ガソリン使用量の削減に努めてまいりました。工場設備の工場、倉庫の増設に伴い電気使用量を削減するためスマートメーターの導入と第一工場に動力プレス機の入れ替えを行うことで使用電気の削減計画予定。ミスト噴霧器を導入し周囲の気温を低減する取組、使用量の把握とともに削減を継続的に行っています。紙の使用量の排出抑制をするために使用済み用紙の裏紙使用、両面印刷の徹底を継続的に行っています。</p>
<p>第22-0002号 横濱乳業(株)</p>	<p>社内の蛍光灯照明の半数以上がLED化されました。また、社用車の代替でエコカーを導入しております。</p> <p>平成28年度は製造量が増加し電気使用量も増加。主に冷凍機の電力増加が要因となっていますが、燃料使用量は焼却炉の運転削減、台数制御管理のボイラーを増設したことによって、削減できております。</p>
<p>第22-0003号 トピー工業(株)</p>	<p>私たちは、省エネルギー、地球温暖化防止活動、環境負荷の低減、環境に配慮した製品開発を通じて、環境に配慮した事業活動を行ってきております。特に、ムダ・ムラの徹底排除を目的に、設備のエア漏れの削減活動を進めており、顕著な実績をあげることができました。</p>
<p>第24-0004号 株あやせ電気</p>	<p>エコに関しては常に意識していますが、今回の結果報告書を書くにあたり、改めて徹底したいと思えます。</p>
<p>第24-0005号 (有)中電社</p>	<p>省エネソフトによるランニングコスト比較表を提案し、平成28年度の照明器具販売実績は住宅用・施設用ともに100%がLEDでした。</p> <p>ISOを取得されている大口の電力需要家には電力監視モニターの提案・販売を行い、効率の良い業務管理の一助として設備投資を担わせて頂きました。オフィス関連、建設副産物の再利用等は従来通り100%の取組で定着しております。</p> <p>今後も環境負荷低減に向けた提案を積極的に行ってまいります。</p>
<p>第24-0006号 株かなしんオフセット</p>	<p>環境負荷の取組のシステムを平成28年6月に変更し、監査等もすべて社内で行うようになりました。品質向上・環境負荷低減・作業内容の効率化等のための改善活動を大きな柱としております。各部署で改善回数目標を設定し、各自が目標達成に向けて行動しております。</p>
<p>第25-0001号 武田商事(株)</p>	<p>新たな取組目標は追加できなかったが、現在取組中の目標は社内にも周知され、より徹底されてきています。</p> <p>今後も社員全員で環境への配慮を心がけていきたいと思えます。</p>



<p>第25-0002号 秋本食品(株)</p>	<p>当社は食品製造会社のため食の安全を守る国際標準「HACCP」の義務化（平成32年）に向け、さらなる食品の安全・安心の向上に取り組んでおります。従いまして、ISO14001の認証を10年以上継続してまいりましたが、一定の成果並びに従業員個々の意識も環境への配慮が浸透したことから、昨年ISO14001の認証を返上いたしました。社内ISOに切り替え独自のルールで環境負荷の低減に取り組んでおります。</p>
<p>第25-0003号 (株)高座豚手造りハム</p>	<p>従業員一人一人が環境意識を持つことで少しでもエコにつなげることができたと思います。 設備面・事業面などで難しい部分はあるが、これからも環境を意識した取組をしたいと思います。</p>
<p>第25-0004号 (有)パレト・モンパル</p>	<p>箱に入れた壊れやすい品物のため、手さげ袋にいれないと、持ち帰りにくいため、難しいです。</p>
<p>第26-0001号 エムケーチーズ(株)</p>	<p>昨年度に引き続いて事業所では設けた項目（CO2、用水、産業廃棄物）の原単位削減を実施し、目標達成に向けて全従業員が同じベクトルに行動できるようになって来ています。 今回リサイクルの意識付けに紙パック製品の回収ボックスを共有スペースに設置しリサイクルの推進をしてまいります。回収量は少ないですが意識変化もでき始めています。</p>
<p>第26-0003号 (株)細川工務店</p>	<p>事務用品はエコマーク商品を積極的に購入しています。木材は廃材や端材を利用してブックエンドやペン立て等の小物を作成したり、チップにしています。</p>
<p>第26-0004号 大平食品加工(株)</p>	<p>取組箇所が大幅に増え、全従業員強い意識を持って取り組んでおります。今後も継続し、さらなる環境負荷の低減に取り組む所存です。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所</p>	<p>事業に用いる電力を、LPG発電による電力メーカーに変更しました。その結果、従来比70%の排出CO2にすることができました。</p>
<p>第26-0007号 (株)アサヒコ</p>	<p>目標を掲げる事で個々の意識向上及び積極的に取り組むことが出来たと思います。 引き続き継続し、取組目標の達成に向け環境にやさしい企業へと努めていきます。</p>
<p>第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター</p>	<p>引き続き、照明器具の段階的LED化、省エネ型空調設備の導入、廃棄物の分別回収などの環境負荷低減への取り組みを継続しております。また、社内申請業務や連絡等において電子化を進めており、紙媒体の削減を図っております。 今後も、資源の再利用や分別収集の徹底による廃棄物低減への取組、省エネ対策、省エネ型設備やシステムの導入などにより、環境負荷低減により一層努力してまいります。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学(株)</p>	<p>従来より取り組んでいた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。 今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場</p>	<p>従業員全員が常に環境に意識して取り組むことができました。取り組んだ内容は少なかったが、よくできたと思います。外国人が多く、習慣や感覚が違うので今後も全員で同じ意識付けをしながら取り組んでいこうと思います。</p>

綾瀬市環境報告書 平成28年度取組結果  
平成29年12月発行

発行 神奈川県綾瀬市  
編集 市民環境部環境保全課計画推進担当  
〒252-1192 綾瀬市早川550番地  
電話 0467-70-5620 (直通)